



問い合わせ先

留学情報館
大岡山キャンパス
Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F

E-MAIL

ryugaku.soudan@jim.titech.ac.jp

ウェブサイト

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad>



東工大 海外留学

検索

本てびきの内容は、編集時点の情報です。
変更される場合がありますので、最新の情報は
ウェブサイト等でご確認ください。

東工大生のための

海外留学 のてびき

Guide to Study Abroad
for Tokyo Tech Students

Tylopass



2023

 Tokyo Tech



東工大から世界へ

「その一歩が、未来への自信！」

毎年約600名の東工大生が海外留学プログラムに参加しています！

CONTENTS

学生メッセージ p.03

- 超短期派遣プログラム
- TASTE海外短期語学学習
- キャンパスアジアプラス
- 協定校シーズンプログラム
- 大学の世界展開力強化事業
- 派遣交換留学

留学の準備 p.09

- 留学情報の収集
- 留学の目的
- 語学力
- 学業成績
- 留学資金の確保
- オンラインプログラムで疑似留学
- グローバル理工人育成コース

留学プログラムの選択 p.13

- 行き先で選ぶ
- 期間・学年で選ぶ

短期～中期プログラム p.17

- 超短期
- 語学
- シーズンプログラム
- 交流
- 専門
- 研究

長期プログラム p.28

- ダブルディグリー
- インターンシップ
- 派遣交換留学
- コラム：留学と就職活動について

留学奨学金情報 p.41

本学に在籍しながら留学する学生向けの奨学金
学位留学する学生を支援する奨学金

※本冊子においては、一部の国・地域について、
一般に使われている呼称を習慣に従い
使用しています。

p.03

学生メッセージ

p.09

留学の準備

p.13

留学プログラムの
選択

p.17

短期～中期
プログラム

p.28

長期プログラム

p.41

留学奨学金情報

超短期 派遣プログラム ・・・

チューラーロンコーン大学
タイ

短い派遣期間の中でも
密度の濃い時間を過ごすことができ
得られるものの多さに圧倒された。

生命理工学院 生命理工学系 橋本 春佳さん
留学時学年 学士課程4年 8～9月



Haruka Hashimoto

直接会って話をしてみたい

ずっと留学に興味がありましたがコロナ禍のため参加できず、学士3年の夏にオンライン研修というものに参加しました。オンラインだからこそ様々な国の学生と交流できてとても良い経験となりましたが、「オンラインではなく直接会って話をしてみたい」と強く思うきっかけとなりました。翌年、久しぶりに現地派遣を伴うプログラムが復活したと知りチューラーロンコーン大学のプログラムに応募しました。このプログラムでは夏のタイ訪問後、冬には逆にチューラーロンコーン大学の学生が東京に訪れるまでグループワークを続け、東京で最終発表を行うというものであったため、現地学生たちと交流する時間が長い点にも惹かれました。

議論を円滑に進めるコツ

現地ではSDGsについてグループワークを行い、関連企業を複数訪問しました。グループワークではチームごとに解決したいSDGsの目標を決め、実現可能な目標達成に向けた解決策の提案を目指し何時間も議論しました。同じ目標について考えているのにタイ側と日本側で問題

視している点が異なり、整理して議論しないとすぐ論点がずれていってしまうのが印象的でした。これを防ぐためにグラフを描きながら話したり、参考リンクを随時送ったりなど、グループワークを円滑に進めるコツを掴めたように感じています。

自分自身について考え直すきっかけに

派遣は2週間という短い期間でしたが、現地の学生と過ごす時間が多かったため濃い交流ができ、彼らの考え方や価値観、将来についての考えなどを知ることができたため視野が広がったと感じています。日本固有の価値観や自分の考え方との違いに驚くこともあったため、自分自身について考え直す良いきっかけとなりました。また、様々な企業を訪問しお話を伺ったことで、会社が社会のために具体的にどのようなことをしているのか、どういう想いを持って働いているのか、学生の私たちが今大切にすべきことは何か、など普段の授業や研究生活では得られない気づきが多くあり、これから就職活動を行っていくうえで自分と社会を関連させて考える良い機会となりました。

STORY

まさに“ほほえみの国”

放課後は毎日現地学生たちと一緒に色々なところへ出かけました。ガイドブックに載っている観光スポットはもちろん、現地の人だけが知っているおいしいお店やタイの若者の間で流行っている場所などに連れて行ってもらい、将来についてや研究についてなど多くの話をすることができました。週末の自由時間でも本当に多くの人たちが親切であったことが印象的でした。ワット・ポーという寺院を訪れたとき、私たちが日本からの留学生と知ると誕生日パーティーに招待してくださいったり、おすすめの市内の周り方を丁寧に教えてくださったりなど、ほほえみの国といわれているように優しい人が多い国であることが実感できました。タイについて詳しく知れただけでなく現地の人たちと仲を深めることができ、とても良い経験となりました。

海外で暮らせる自信をつけたい

就職予定の企業がかなりグローバル展開を進めていたということもあり、将来的に海外で生活する可能性も考えられました。それに備えて、在学中に海外で暮らせる自信をつけておこうと思い、留学に行くことを決めました。短期留学のTASTEの中では最もプログラムの期間が長かったこと、また、理系のプログラムがあり、海外校の理系のプログラムがどのようなものなのか気になったことなどから、留学先としてUC DAVIS校を選びました。

授業はすべてアクティブラーニング形式

授業はグループワーク、プレゼンテーション、インタビューなど、すべてアクティブラーニング形式で行われました。なかでも印象的だったのがインタビューです。インタビューはそれぞれの専門分野（自分なら生命）における新しい技術についてのアメリカ人の考え方について調べるものでした。その中で私はクローン技術に対するアメリカ人の考え方というテーマに決めて、それについての10個の質問を用意しました。それを街中の人10人に対して10個の質問でインタビュー

をし、その結果をスライドにまとめ、プレゼンしました。この授業を通して、全く知らない人に対して話しかけるというハードル、そして現在の自分の語学力で何とか目標を達成するというハードルを越えることができ、成長に繋がったと感じました。

現地でしか味わえない体験

学業以外の交流として、地元のミュージックフェスティバルに参加しました。日本とは異なり、音楽に合わせてそれぞれが自由に踊り狂います。参加者たちに紛れて一緒に踊り狂っていると、それにつれてたくさんの地元の方々と友達になることができ、時には食事に行くような間柄になりました。周りの人たちは本当に温かく接してくれて、時間に自由な人たちが多く感じました。

また、現地には就職予定の会社のUSA本社があったため、そこに訪問し、アメリカならではの人事制度や、差別に対する配慮などを聞くことができました。そのような話を聞く中でやはり自分もこの地で働いてみたいという気持ちがより一層強くなりました。留学前は海外勤務という可能性

TASTE 海外短期語学学習 ・・・

カリフォルニア大学
デービス校
アメリカ合衆国

留学を経験したことで、
少し身構えていた“海外”が
今では行きたいと思える場所に。

生命理工学院 生命理工学系 横山 友基さん
留学時学年 修士課程2年 8～9月

Yuki Yokoyama

STORY

スポーツで異文化交流

高校時代まで柔道部に所属していたということもあり、その経験を生かして柔道を通して異文化交流をしようと考えていました。現地でリサーチを進め、どうやら柔道部があることがわかり、Facebookから連絡を取ってみたいところ歓迎してもらいました。練習に参加してみると、「1ヶ月で良いから柔道部に所属してほしい」とオファーを頂いたため入部することになりました。7年ぶりの柔道はなかなかハードで、部活として本格的に取り組むのには辛いものもありましたが、英会話の機会も段違いに増えたため、自然と英語が出てくるようになりました。留学の最終週にはカリフォルニア州の柔道大会があり、それに出席させてもらいました。自慢になってしまいますが、その大会で準優勝できたことは一生の思い出です！笑

Advice 堅苦しく考えず 少しでも興味があれば挑戦してみて

私自身、留学に興味はあるけど勇気が出ず応募をぎりぎりまで迷っていました。が、いざ応募してみるとこのプログラムで得られるものの多さに圧倒されました。現地での生活を通して価値観が広がっただけでなく、同じ理工系の海外の友人を作れたり、同じように留学に興味を持つ東工大の学生と知り合い情報を交換し合ったりなど、貴重な出会いや気づきがたくさんありました。



偶然参加させて頂いたワット・ポーでの誕生日会

現地学生に連れて行ってもらったタイ料理屋！地元民で溢れていました

最終日の夜ご飯！BBQで更に仲を深めることができました

1日のスケジュール (チューラーロンコーン大学)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床、準備・登校	授業開始	グループワークやサイトビジットなど			昼食	講義やサイトビジット				放課後バンコク散策など			夕食		帰宅、グループワークの準備など		就寝

タイのご飯は安くおいしいので毎日色々なお店に食べに行きました

Advice 自分の学生生活に一つ 変わった色を混ぜ合わせてみて

踏み出すのは難しいかもしれない。なぜなら人は自分の知らないものに近寄りたがらないから。でも、一度踏み出してしまえば後は身を任せれば何とかなります。自分の学生生活に一つ、変わった色を混ぜ合わせてみてください。卒業した時にはきっと美しい絵が完成していますよ。



カリフォルニア州の柔道大会で準優勝！

柔道大会の後、港町・モントレーで部員たちと記念撮影

渡航先のデービスで開かれたミュージックフェスティバルにて

1日のスケジュール (カリフォルニア大学 デービス校)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床、朝食	サイクリング	登校、授業			昼食		授業課題、お出かけ等				夕食	柔道部			柔道部の先生の家で飲み会		就寝

Yusuke Kojima

留学の動機はプレミアリーグ

海外サッカー（特にプレミアリーグ）が好きで、将来は現地でファンとの交流や観戦をしてみたいと思っていました。そのため、英語を使わなければならない環境に飛び込み、英語で連絡を取れる友達をたくさんつくれるようにと、留学することを決めました。初めての留学ということもあり、1ヶ月というちょうどよさそうな期間で、かつ費用も比較的抑えられるキャンパスアジアプラスのプログラムに参加してみようと思いました。また、せっかくなら研究活動をしてみたかったため、語学プログラムなどに比べて魅力的に感じました。

難しい研究内容もメンターと二人三脚で

取り組んだ研究テーマは、プログラミングを本格的に学び始めてから3年目の自分にとっては難しいものでした。そのため、メンターから参考にするべきコードを教えてもらってそれをもとに少しずつ修正し、仮説をいくつか試す、ということの繰り返しでした。ミーティングは週に数回、1回につき2時間くらいのもので、メンターが参考コードについて詳細に説明してくれ、わからないところを質問すると真摯に向き合ってくれてくれました。せっかく時間を割いてくれているのだからと、それを活かせるように主体的に研究を進め、“とても難しい研究”だったはずのものが“だいたい何をやっているのかわかる研究”に変わり、とても価値のある体験となりました。

研究以外にも、研究室の人たちと卓球をしたり、サッカーのTVゲームをしたりなど、充実した交流を楽しむことができました。もともと友達をたくさんつくるのが目的のひとつでもあったため、もし彼らが日本に来るときに自分に声をかけてもらえればと思い、会って10秒以内に「連絡先を交換しませんか」と言うようにしていました。そのおかげで30人以上の人と連絡先を交換することができました。

留学後も研究室との繋がりが続く

留学中に最も印象に残っている出来事は、メンターが「1ヶ月では期間が短く、満足できる研究ができないのではないか。もしよかったら日本に帰ってから追加で研究してみない?」と誘っていただいたことです。留学期間中も、なぜ自分にここまでよくしてくれるのかわかりませんでしたが、自分にとってはまたとないチャンスだったため「やりたいです!」と即答しました。Zoomでのミーティングを交えながら、時間があるとき

キャンパス アジアプラス ・・・

韓国科学技術院 (KAIST)
韓国

目に見えるものすべてが新しい。
留学は人生に必要な“経験値”が
最高に詰まっているイベント！

情報理工学院 情報工学系 小島 悠介さん
留学時学年 学士課程3年 8～9月

に作業を行い、KSCという韓国のカンファレンスに論文（3ページ程度）の提出も行いました。今回が自分にとって初めての論文執筆だったため、大変貴重な経験をさせてもらいました。

STORY

ユニフォームで話題づくり

韓国の国民的ヒーローであるサッカーのソンフミン選手。彼のユニフォームを着て街を歩けば、現地の人たちから声をかけられるかもしれないという期待から、日本で買ったユニフォームを週2のペースで着ていました（笑）。結局、街で声をかけられるということはほぼありませんでしたが、着ていた日には研究室ではたくさん話しかけられました。想像していた以上にサッカー好きが多く、サッカー談義は盛り上がりましたし、プレミアリーグの話もたくさんすることができました。そのきっかけをつくることができた大きな要因は、やはりソンフミン選手のユニフォームを着ていたからだったと思います。自ら話題づくりのネタを仕込むことも、コミュニケーションを育むうえで大切なのだと改めて感じました。

協定校 シーズンプログラム ・・・

グルノーブル工科大学
フランス

将来はグローバルに活躍し、
留学で出会えた世界各国の
仲間たちと再会できるように。

環境・社会理工学院 融合理工学系 大友 志穂さん
留学時学年 学士課程3年 6～7月

待ち望んでいた海外留学

幼い頃、父の仕事の関係で中国に住んでいたことがあり、それがきっかけで国際交流や国際問題に関心を持つようになりました。国際問題を解決できるようなグローバルな人材になるスキルを獲得したいという思いもあって、大学では絶対に留学をしたいと考えていました。このプログラムを選んだのは、授業がない時間を有効活用し、短期間で興味のある分野について学ぶことができる考えたからです。私は持続可能な社会実現におけるエネルギーの課題に興味があり、自分の専攻にも関連するテーマであるため、エネルギーや水管理において高い技術力を持つグルノーブル工科大学で勉強したいと思い、応募を決めました。また、将来就職を考えている国連などの多くの国際機関ではフランス語が公用語の一つであるため、国際外交上非常に重要なフランスで実際に生活・勉強することを通してフランス語や文化に多々触れることができるとも魅力的でした。

圧倒されるほどの積極性や行動力

留学中の授業は、講義と実践演習の2種類でした。講義は小さめの教室で少人数で先生からのレクチャーを受けるというスタイルで、日本と似たような印象でしたが、ただ一つ決定的に違ったのは学生の積極性でした。留学経験者からよく聞いていた話ではありますが、海外

の学生は本当によく質問をします。わからないことはどんどん質問をして、考えもどんどん発言する。講義は一方的なものではなく、会話のようなものであると改めて認識しました。例えば、先生の教え方・態度・考え方に疑問や不満を抱いた場合でも、すぐにコミュニケーションを取りに行き、ディスカッションを通して改善を模索する、といった行動力と考えに圧倒されました。個々の発言が特に尊重される海外では、何も発言しないことが「何も不満がなく満足している」と捉えられてしまうのではないかと思い、一つひとつの言動が非常に重要となってくるのだと実感しました。

「行ってみたい」から「絶対行きたい!」に

今回の留学で、改めて自分が国際交流や海外との交流が好きで、そのような場に身を置くことが好きだと感じました。そして、以前から考えていた海外での進学や就職に対して、「行ってみたい」という気持ちから「絶対行きたい!」という確信に変わり、今回の留学を終えてから、中谷医工計測技術振興財団の主催しているNAKATANI RIES国際学生交流プログラムに参加しました。ジョージア工科大学の研究室に2ヶ月間所属し、今度は研究生活を体験することができました。プログラムの最優秀賞も受賞することができ、将来海外で働くにはどのようなキャリアを歩むか、ということをやより深く考

えるようになりました。

更に、留学を通して世界各国の仲間と出会うことができました。彼らとの繋がりが大切にして情報交換を行いながら、それぞれがどのような研究分野に進み、進路をどうするのかなどのことからヒントを得たいと考えています。そして、将来海外で活躍できるようになったら、彼らと再会できることを楽しみに頑張りたいです。

STORY

独り言も英語になるほど英語漬け

日本人学生が私しかいなかったため、3週間全く日本語を使うことなく生活をしていて、独り言も英語になるほど英語漬けの毎日でした。様々な国から学生が集まっているため会話は英語メインでしたが、それぞれの国の言葉も教え合ったりして、英語以外の挨拶や簡単な言葉も学ぶことができました。また香港からの学生が数人いて、彼らは中国語も堪能で私も幼少期の経験から喋ることができたため、彼らとは中国語で話すこともあり、日本語以外の言語下で生活する良い経験となりました。現地での交流は本当に楽しく、共通の言語を使って、多様なバックグラウンドの人たちと交流することの楽しさを改めて実感し、日本に帰ってもこのような環境や場があればいいなと強く思いました。

Advice

“どうにでもなる”ので
まずは一歩踏み出してみよう

必ずうまくいくとは限らず、時には辛い思いをすることもあるでしょう。うまくいかない時はうまくいくように工夫し、それでも無理そうなら逃げることも大切だと思います。まずは「適度にやってみよう」くらいの精神でいいと思いますので、一歩踏み出してみることをお勧めします。



研究室の友達とKAISTの体育館で卓球



研究室の友達と夕食



研究室でお世話になった教授（自分はソンフミン選手のユニフォームを着用）

1日のスケジュール（KAISTの基礎科学研究院（IBS））

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		起床、朝食	IBSまで徒歩で移動	IBS到着、研究開始		IBS1階のカフェテリアで昼食	研究再開	ミーティング開始		ミーティング終了、研究再開	研究終了	夕食	夕食後、研究室の人と少し喋る	帰宅、就寝支度	研究しながら一階に渡航した東工大生と喋る	喋り終えて就寝		

近くのパン屋で買ったものをホテルに持ち帰って食べる

Advice

自分の環境をガラッと変えて
新しいことに挑戦できるチャンス

経済的なものや語学など、たしかに多くのハードルが存在すると思いますが、それらを乗り越えた先に、お金では買えない・日本にそのままだけでは経験できないことが絶対に経験できると思います。この体験談がその一歩を踏み出すきっかけになるよう願っています。



Annecyを訪れた時の写真



みんなで近くのイタリアンで夕食



最終日には修了証が授与されました

1日のスケジュール（グルノーブル工科大学）

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床、朝食	課題や録画の視聴	登校の準備	午前の授業			昼食		午後の授業				アクティビティまたは自由にみんなが街の散策や買い物	夕食		みんなでコンプレックスで談笑	洗濯	入浴	就寝

東工大での授業をとっていたため

学校の食堂もしくは近くのベーカリーのサンドイッチやパン

アクティビティは施設訪問や脱出ゲームなど

部屋でバスなどの自炊またはみんなで夕食

ワインやお菓子とともに音楽を流しながらお喋りやゲーム

1回3C、乾燥機は追加で値段がかかるので部屋干し



Shota Shiratori

01
大学の世界展開力
強化事業
・・・
イスタンブール工科大学
トルコ

02
派遣交換留学
・・・
スイス連邦工科大学
チューリッヒ校 (ETH)
スイス

東工大での学びを礎に、
世界トップレベルの大学でしか
得られないスキルを身につけたい。

環境・社会理工学院 建築学系 白鳥 翔大さん
留学時学年 大学の世界展開力強化事業：学士課程4年 2月
派遣交換留学：修士課程2年 9月～翌年 8月

まずは短期留学でハードルを下げる

もともと留学に少し興味はありましたが、研究室に配属され留学した先輩たちからの話を聞くうちにその想いが強くなっていきました。その頃にちょうど研究室の先生に声をかけていただき、まずは短期で留学を経験できる良い機会だと思って挑戦しました。短い期間で多くの歴史的建造物を視察する日程で、現地での学びと生活を体験できたため留学に対する心理的ハードルが下がりました。次は長期での留学を決意し、留学先としてETHを希望しました。ETHはサンティアゴ・カラトラバやヘルツォーク&ムネーロンなどを始めとした多数の有名建築家を輩出しており、建築設計の授業のレベルが高いことで有名で、最近では“建築とデジタル”の領域でも先進的な試みをしている世界トップレベルの大学です。これまで東工大で学んだことを踏まえ、ETHでしか得られない設計力やスキルを身につけたいと思いました。東工大と派遣交換留学協定を結んでおり、留学に行きやすい環境が整っていたことも決め手の一つでした。

教員と学生が“膝を突き合わせる”

派遣交換留学を振り返ってみると、じっくり時間をかけて着実に学べたという印象です。建築設計の授業では一つのセメスターで一つの課題に取り組むことがで

きたので、デザインの表現に時間に余裕をもって割くことができ、その背後の論理を考えることもできました。また、スキル面で少し遅れをとっていた“建築とデジタル”の授業でも、じっくりと時間を確保しながら取り組むことができたので、自信を持ってロボットを扱えるレベルに達しました。また、教員と学生間での敷居の低さにも驚きました。普段の授業から教員と学生が話し合う場面が多いうえ、セメスター後には学生から授業に対するフィードバックをとる時間として、教員と学生が輪になって文字通り“膝を突き合わせて”授業の良かった点や改善点を話し合いました。こうした場では全員が活発に議論をしており、他の学生や教員側の視点の感想を聞くこともできて、非常に学びの多い時間となりました。

毎朝のジム通いで良いスタート

生活リズムを作るという目的で大学併設のジムにほぼ毎朝通っていました。そのジムではETHの学生であれば、いくつかの施設やスポーツレッスンを無料で利用することができました。ジムは清潔かつ充実した設備で平日は毎朝7:30から開いており、友人にバツリ会うこともよくありました。自分は朝に弱いタイプだったのですが、この環境のおかげで毎朝良いスタートを切ることができていたと思います。

就活はむしろ可能性が広がるかも

就職活動について、派遣交換留学に行ったことによる日程面での影響は基本的にありませんでした。しかし、ヨーロッパは秋に年度が始まるため何かと日本とは時期がずれるものです。最近ではオンラインの利用もできると思うので、海外滞在中でも就活の情報が入ってくるようにしておけばあまり心配ないと思います。海外で就職先を探してみようという可能性が広がるかもしれませんね。

STORY

盗難被害にはご用心

滞在中、スイスの北部の都市バーゼルで盗難被害に遭ってしまいました。カード・現金・ID類は無事でしたが、家の鍵と思いの品がなくなり、精神的にはショックでした…。被害に遭った日は家に帰ることができなかったで、日本人の知り合いを頼ったのですが、その方が温かく迎えてくださったおかげで精神的に回復することができ、スイスを嫌いにならずにすみました(笑)。今でも感謝してもしきれません。これはもちろん日本でも同様ですが、盗難や身の安全には十分に注意して、もしもの時の準備をしておきましょう。



建築スタジオで模型を使っ
てのディスカッション

課題最終提出後にスタジオの仲
間と大学前の広場にて

セメスター後の登山にて
(マッターホルン)

1日のスケジュール (スイス連邦工科大学 チューリッヒ校)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床、 語学自習	朝食、登校、 トレーニング ジム	シャワー、 図書館で 建築の勉強	建築スタジオ作業 (グループワーク)			昼食	建築スタジオ作業(グループワーク) or その他の課題			“建築とデジタル”の授業				下校、 買い物	帰宅、 夕食		就寝	

01
TASTE
海外短期語学学習
・・・
ワシントン大学
アメリカ合衆国

02
派遣交換留学
・・・
スイス連邦工科大学
チューリッヒ校 (ETH)
スイス

積極性と専門性の高い
学生たちに刺激を受ける日々。
将来のビジョンが明確になった。

生命理工学院 生命理工学系 櫻井 咲季さん
留学時学年 TASTE 海外短期語学学習：学士課程2年 8～9月
派遣交換留学：修士課程2年 9月～翌年 2月

漠然と憧れていた海外留学

高校卒業まで一度も日本から出たことがなく、漠然と留学への憧れがありました。授業や部活動で忙しい毎日でしたが、学士2年の夏休みに短期の留学プログラムに挑戦しました。授業時間は短くて比較的自由度が高かったため、いかに毎日の放課後を充実させるかを考えて過ごしました。例えば「日本人の友達とも英語で話す」ことを日常的に実践していたら、電車やバスの中で私たちの会話を聞いた地元の方が話しかけてくれて、本物の英語に触れることができました。他にも日常生活に些細な工夫を施すことでプラスアルファの経験が得られた場面があり、自分の力で留学経験を豊かにできるという自信に繋がりました。

次は専門性を深められる長期留学がしたいと考え、英語選択科目を履修するなどして少しずつ準備していました。コロナ禍のなか様々なプログラムを調べ、「学士・修士で6年間」という期間を延ばさずにチャレンジできるのは派遣交換留学だと考えました。対象校の中でも特にレベルが高く、将来携わりたいと思っていた製薬産業との親和性も高いスイスのETHを選びました。

全てが新鮮に感じた授業

留学中は東工大での専門からは少し離れて“創薬科学”を専攻し、医薬品に関する専門的な知識と、創薬

産業と社会との関わりについての考え方を学びました。製品がどのように社会へ影響を及ぼし、その影響をどのように調査して意思決定に反映するのか、という視点はこれまで学んだことがなく全てが新鮮でした。疫学や免疫学などの初めて学ぶコンセプトを英語で理解していくことは容易ではありませんでしたが、TAに何度もアポを取って質問に行ったり、友達と意見交換したりしてなんとか乗り越えられました。毎回の授業で周りの学生の優秀さと積極性に圧倒されっぱなしではありましたが、対面とオンラインのハイブリッド型の授業運営のなか、根気強く対面授業への出席を続け最後には発言することができました。

専門性を深めることで自分の価値を高める

就職活動は帰国直後に日本で開始しました。志望業界は変わりませんでしたが、留学前は「なぜ志望している、具体的に何がやりたいか」明確な答えを持っていませんでした。留学中に大きく変化したのは「専門性を武器として将来を切り拓いていこう」と考えるようになったことです。以前は勉学以外にも幅広いことを経験して成長し、社会で評価される人間になりたいと考えていました。しかしETHで、現地学生たちの専門性の高さ、専門性を深めるための充実した環境を目の当たりにし、「専門性を深めることで自分の価値を高める」という考

えが足りなかったと痛感しました。就職活動において“臨床開発職”という職種を選んだのも、チューリッヒでキャリアフォーラムに参加した際に、その専門的なスキルや経験が世界中で通用し、キャリアも幅広い話を聞いたからです。将来は海外で働くことも視野に入れ、留学で感じたことを忘れず「自分がスキルを発揮できる場所を創る・見つける」という気概で進んでいきたいです。

STORY

旅行や運動でリフレッシュ

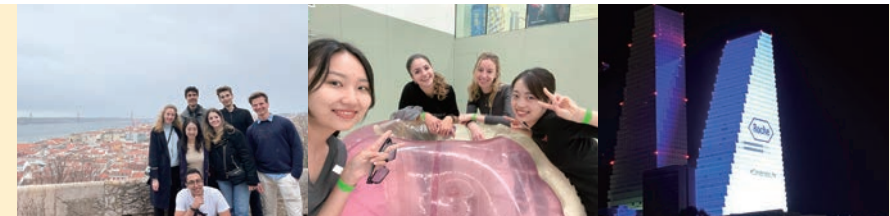
ミラノやパリなどチューリッヒから比較的近い隣国の都市や、アルプスのユングフラウなどのスイス国内を旅行しました。途中でオミクロン株の大流行もあったため断念したものもありましたが、学部友達とポルトガルのリスボンに行ったのは良い思い出です。また、私が所属していた学科の学生たちが主催していたバブルサッカー大会やアイススケートイベントにも参加しました。大学のスポーツセンターもよく利用していて、特にダンスが好きだったのでジャズダンスやバレエ、ズンバなどのクラスに通い、ストレス解消していました。

Advice
留学に興味があるなら
遠慮せずに相談してみよう

留学に興味があればぜひ遠慮なく先輩方や留学生交流課の職員さんを頼ってみてください。留学経験者や、その様子を見てきた方であれば特に留学の大変さを理解しているので、間違いなく助けてくれると思いますよ！

Advice
面倒なことや大変なことが
きっと貴重な経験に繋がるはず！

準備段階で、行きたかった研究室に断られてしまったり、合格していた奨学金を辞退することになったりなど挫折がありましたが、結果的にはそのおかげで良い出会いに恵まれ、自分の感じるままに伸び伸びと過ごせました。大変なことも多いですが、きっとその全てが貴重な経験に繋がるはずです！



帰国前最後のリスボン旅行 (仲
良くしてくれたETH創薬科学部
の学生たちと)

学生団体主体のバブルサッカー
イベント

ロシュ社創立125周年記念のプ
ロジェクションマッピングを観に
バーゼルへ

1日のスケジュール (スイス連邦工科大学 チューリッヒ校)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床、 朝食	登校、 授業開始						昼食	図書館 で勉強		コーヒー休憩 @創薬科 学部の 学生室	TAさんのオフィスアワー 質問に行く	スポーツ センターで ダンス	買い物・ 帰宅、 夕食	勉強 or リラックス タイム	入浴	就寝		

7:45から授業開始！冬場は
外がまた真っ暗な中登校しました

学部ごとに図書館があって雰囲気も違ったので、
気分によって使い分けていました

家の友達と
カードゲームなど

ヨーロッパの学生に刺激されて、
睡眠時間をしっかり確保するようになりました



留学準備

留学に行きたいと思ったら、その日に向けて計画的に準備をしましょう。

派遣交換留学であれば約1年前、短期プログラムであれば2か月～半年前に応募を締め切りますので、事前の準備が肝要です。

1 留学情報を収集しよう

留学情報サイト「留学ガイド」

留学に関する様々な情報をまとめて掲載しているウェブサイト。各種留学プログラムの最新情報の他、留学奨学金情報や留学手続きの流れ等を確認できます。また、過去に留学を経験した学生たちの留学体験談も多数掲載されているので、留学のイメージをつかむとともに、プログラムや留学先を選ぶ際の参考となること間違いなしです。

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad>

留学ガイド



留学イベント

留学生交流課では、従来の留学フェアに加えて、留学に関して気になるテーマを取り上げたイベントを随時開催しています。

テーマの一例

- 東工大の国際教育について理解する
- 留学×就活
- 東工大の留学プログラムを知る
(派遣交換留学・地域別・コンソーシアム等)
- 学位留学と奨学金について



国際交流メールニュース

留学プログラムや留学用奨学金に関する募集情報を随時メールニュースとして配信しています。幅広く情報を集めたい人、忙しくて自分で情報収集する時間のない人、募集時期を逃したくない人にもオススメ!



登録は上記「留学ガイド」またはこちらから



グローバル理工人育成コース

コースに所属することで、留学に関心のある学生同士のネットワークが広がり、情報収集の一助となります。またコースのウェブサイトや、メールニュースでは、留学や留学準備に関する情報を随時提供しています。

→ 詳細 p.12 参照



留学情報館と留学コンシェルジュ

留学情報館で留学について相談してみよう。

→ 詳細 p.15、16 参照

2 留学の目的を考えよう

留学したいと思ったら、留学の目的を明確にしましょう。留学の目的がはっきりしているほど、充実した留学生活を送ることができ、留学による成果も期待できるでしょう。卒業までの学修計画の中にどのように留学を位置付けるのか、留学をどのように将来に活かすのかを考えることも大切です。



留学の準備

3 語学力を身に付けよう

留学をより実り多いものにするには、留学前に語学力をできるだけ向上させておく必要があります。また、留学プログラムの中には応募の際に語学要件が課されているものもありますので、自身の語学力を高めるほど、留学の選択肢が広がると言えます。語学力は一朝一夕で身に付くものではありませんので、早いうちからトレーニングしておきましょう。

語学学習に活用してみよう!

ウェブサイトはこちら

リベラルアーツ研究教育院 外国語セクション



様々なメニューを用意して、東工大生の外国語学修を支援しています。

- 授業は必修科目のほか、外国語の検定試験対策、留学準備、スピーキング、アカデミックプレゼンテーションなど、多様なニーズに応える選択科目を開講。
- 英・独・仏・中の4ヶ国語それぞれの語学集中講座を春夏の休暇中に開講。

Check! Support & Event

外国語学修資料室

外国語学修用に各種語学教材(英・仏・独・中・露、他)の閲覧・貸出を行っています。
※初回時のみ要学生証

場所
大岡山キャンパス
西3号館7階701号室

開室日時
ウェブサイト参照

外国語学修相談室

専任教員が外国語学修に関するあらゆる相談に応じています。

詳細
ウェブサイト参照

English Café

ネイティブスピーカーの先生を中心にランチを食べながら、気軽におしゃべりをする会です。

詳細
ウェブサイト参照

English Office Hours

ネイティブスピーカーの講師が、英語学習についての相談に応じます。英会話トレーニングにも最適です。

場所
大岡山キャンパス
西3号館9階911号室

開室日時
ウェブサイト参照

Writing Center

英語または日本語で書いた学術的文章(大学で出される文章課題)を持参してください。訓練を受けたチューターと対話を重ねながら、文章の改善を目指しましょう。

※希望者は外国語セクションのウェブサイトより予約

詳細
ウェブサイト参照

海外からの学生との交流を通して英会話実践!

語学パートナー制度(タンデム)

お互いの学びたい言語と教えられる言語が一致する学生同士で外国語を教え合う制度。大学公認団体ACTIONが運営しています。時間・場所・頻度・教材は自由であるため、空き時間を活用しながら、自分のやる気に応じた語学学習の機会を得られます。参加者の多くがスピーキング・リスニングを中心に語学力の向上を実感しています。



留学生チューター

入学当初の留学生が不安や不便なく学修や日常生活ができるように先輩東工大生が支援する制度です(謝金支給有)。チューター活動を通して、外国語でのコミュニケーションを実践できるだけでなく、留学生の出身国の生活習慣や文化を学ぶ機会を得られます。また、自国の文化や社会制度等に対する考えを見直すきっかけにもなり、自身の留学にも活かせることでしょう。



SAGE

東京工業大学国際交流学生会SAGEは、主に海外の大学に所属する学生との交流の場を創る学生団体です。本学を訪問する海外学生との交流会、海外学生を東工大に招く約11日間のプログラムなどを企画・運営しています。

留学に使える語学試験

プログラムによって認められる語学力判定試験の種類は異なりますが、ここでは主なものを紹介します。

TOEFL iBT テスト

概要 | 主に大学・大学院レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語運用能力（読む・聞く・話す・書く、の4技能）を同時に測定する試験です。自然科学、社会科学、芸術など幅広い分野の教養科目や学校生活に関する題材が扱われます。テスト時間は約3時間です。

試験日程 | 毎月2～4回程度 | **受験料** | 245 米ドル



IELTS

概要 | イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドや、多くのヨーロッパの協定校で英語能力の証明として認められている試験です。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4つのテストで構成され、所要時間は約2時間45分です。テスト方式（コンピューターまたはペーパー）を選択することができます。

試験日程 | 毎月2～4回程度（東京会場） | **受験料** | 25,380 円（税込）（英検協会を受験の場合）



TOEIC Listening & Reading テスト

概要 | TOEIC L&Rはリスニング（約45分間・100問）、リーディング（75分間・100問）、合計約2時間で200問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。

試験日程 | 毎月1回程度 | **受験料** | 7,810 円（税込）



4 良い学業成績を残そう

プログラムや奨学金によっては応募の際に成績要件が課せられているものがあります。



5 留学資金を確保しよう

留学には多くの費用がかかるもの。留学期間や行先によって金額は異なりますので、事前に希望の留学をするにはどの程度必要なのか確認し、家族にも相談しましょう。東工大では、比較的安価に行けるプログラムや奨学金がセットになったプログラムも提供していますのでそちらも併せて調べてみましょう。（留学奨学金情報についてはp.41をご参照ください）

6 オンラインプログラムで疑似留学を体験してみよう

いつかは留学したいと考えている方は、まずはオンラインプログラムで疑似留学をしてみるのはいかがでしょうか。オンラインプログラムなら、渡航費や宿泊費等がかからない分、実際の留学よりも費用を抑えてプログラムに参加できます。本学や協定校が主催するプログラムの中には無料で参加できるものもあります。また、研究や院試、部活・サークル、就活で忙しくて今は日本を離れることができないという方でも両立しやすいでしょう。異文化コミュニケーションや英語ディスカッションの練習、現地の授業の体験などが気軽にできるオンラインプログラムのメリットを活かせば、将来の留学がより身近に感じられ、自信やモチベーションアップにもつながるかもしれません。

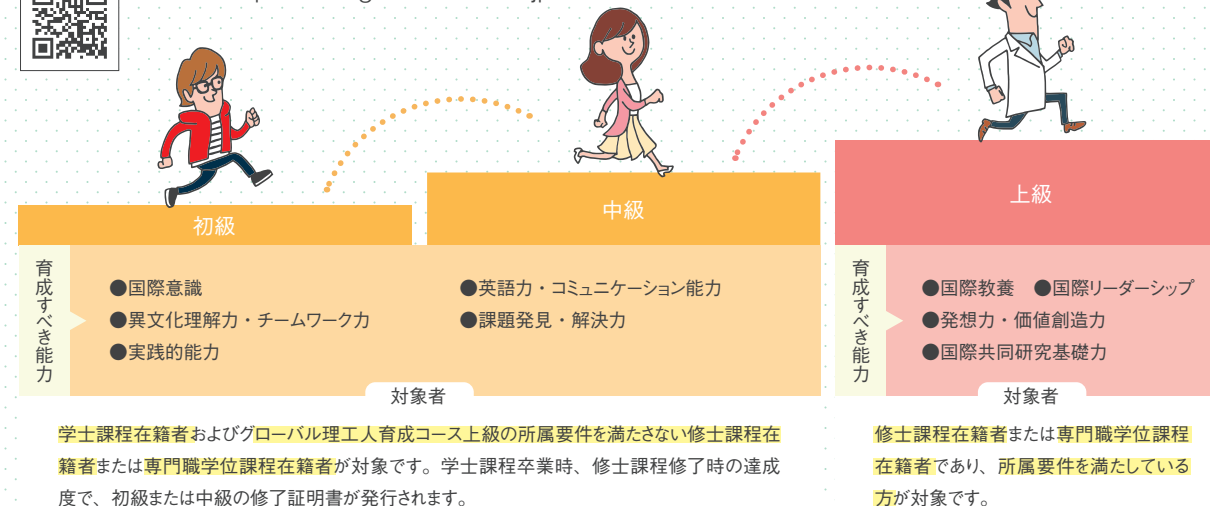
Pick Up!

グローバル理工人育成コース

「国際基礎力」、「国際実践力」、「国際協働力」を段階的に発展させる国際性涵養に特化した教育カリキュラムで、修了要件に留学経験が含まれています。本コースでは専門性を基礎としたアイデンティティ・知識・経験・技術力を基軸とし、多様性を理解し、倫理観を持って、グローバル社会の未知な課題に対応できる「科学・技術の力で世界に貢献する人材」を育成することを目的とします。



URL : <http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

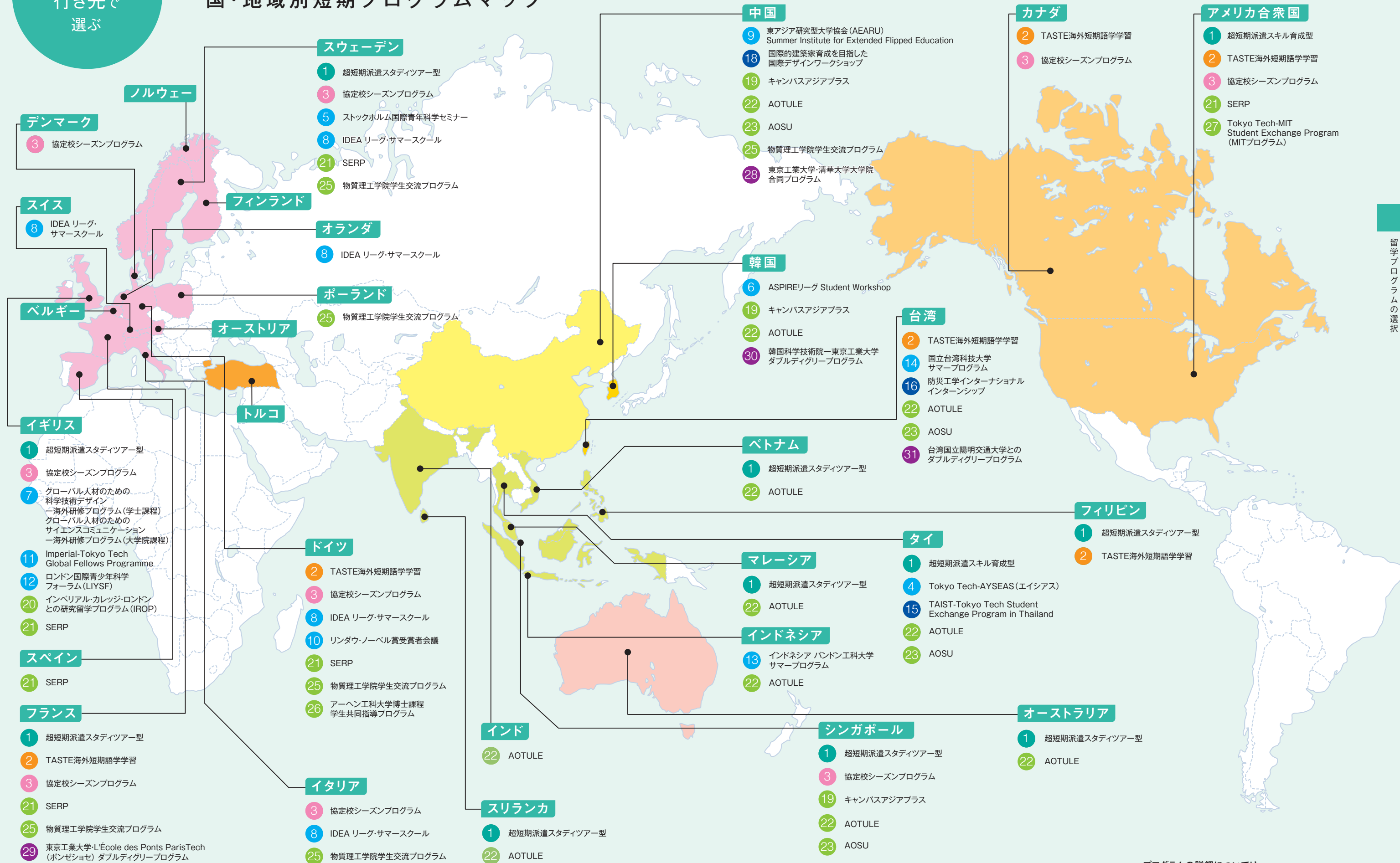


行き先で選ぶ

DESTINATION

国・地域別短期プログラムマップ

留学プログラムや派遣交換留学の対象校がある国・地域に色をつけています。



プログラムの詳細については
p.17～ 留学プログラム一覧を参照ください。

あなたに向いている留学プログラム

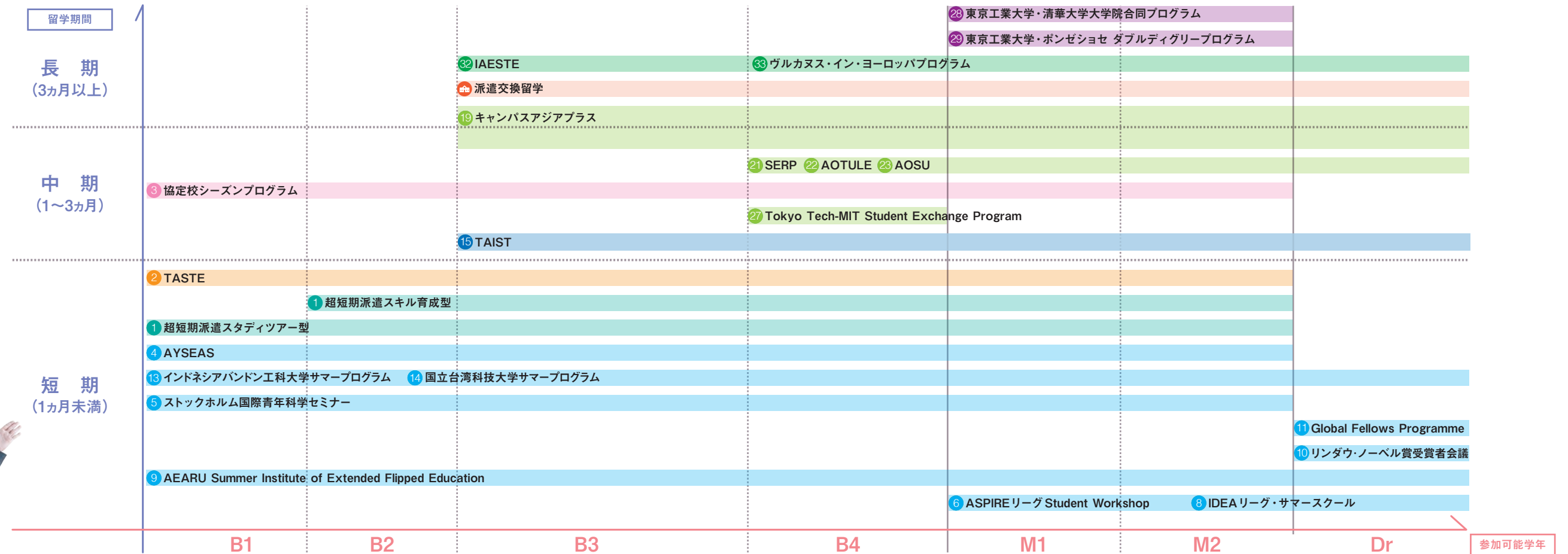
各プログラムの詳細はp.17以降をご覧ください。

留学プログラムの選択

期間・学年で
選ぶ

TERM &
APTITUDE

留学期間(縦軸)と
参加可能学年(横軸)を
参考に当てはまる
留学プログラムを確認 ▶



留学プログラムの選択

TOKYO TECH
STUDY ABROAD
INFORMATION CENTER

留学情報館 @Taki Plazaへ行こう!

場所 大岡山キャンパス Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F
開室時間 平日 9:00〜17:00
MAIL ryugaku.soudan@jim.titech.ac.jp

ウェブサイト



留学情報館では、東工大生のための留学情報を一元的に提供しています。参加者募集中の留学プログラム情報や留学経験者による報告書、各国協定校のパンフレットや奨学金情報など自由に閲覧できますのでお気軽にお越しください。



留学のこと。
聞いてみたいときは
ココへ行こう!

留学コンシェルジュが
あなたを待っています!

留学
相談 担当

日ごろから学生の海外派遣業務に携わっているスタッフが、留学プログラム、留学先や留学時期の選択、留学準備(語学学習含む)等様々な相談に対しアドバイスします。

迷ったら、
留学コンシェルジュに
気軽に相談に
行ってみよう!

相談方法

留学コンシェルジュ
サービス申し込みフォーム
<http://ur2.link/khWr>
に記入してください。



相談方法は下記から選べます。

- 対面での相談
- zoom 相談
- メールでの相談



先輩に相談してみよう!
留学促進学生団体

FLAP

『東工大生にとって留学が当たり前の選択肢に』をコンセプトに留学経験者が運営する学生団体です。留学イベントの運営、留学を終えた学生たちが自身の経験をもとに留学相談等をおこなっています。





超短期

超短期の留学で海外経験第一歩を踏み出したい方

1

実践型海外派遣プログラム(グローバル理工人育成コース)

世界トップレベルの大学での授業の聴講、学生交流、ラボ見学や、国際機関や現地企業の訪問を通じて、長期留学や海外でのキャリア形成に備える体験留学。

●単位付与有

こんな方にオススメ!

将来長期留学を考えていて、色々な大学を見て回りたい。海外に行くのが初めて。異文化体験をしたい。体験留学をしたい。

http://www.ghrd.titech.ac.jp



主な応募資格	学士課程学生・修士課程学生(国籍、学年、学院・系・コース等不問)		
費用・奨学金	一定の条件を満たす学生に6～10万円が支給される可能性がある。(派遣地域により異なる) ※グローバル理工人育成コース所属生を優先する		
留学期間	10日～2週間程度	使用言語	英語
問い合わせ先	Taki Plaza B1F グローバル人材育成推進支援室:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp		



超短期派遣スタディツアー型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学、ウプサラ大学 リンシェーピング大学	8～9月	10～15名	25～40万円
フランス	アール・ゼ・メティエ ソルボンヌ大学	8～9月	10～15名	25～40万円
イギリス	ヨーク大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン ロンドン大学クイーンメアリー校	2～3月	10～15名	25～40万円
オーストラリア	メルボルン大学	2～3月	10～15名	25～40万円
シンガポール マレーシア	南洋理工大学、マラヤ大学 シンガポール工科デザイン大学	2～3月	10～15名	25～40万円
フィリピン	デラサール大学 フィリピン工科大学	2～3月	10～15名	25～40万円
スリランカ	ヘラデニヤ大学 ランカ・ニッポン・ビズテック・インスティテュート	未定	10～15名	25～40万円
ベトナム	ハノイ工科大学	未定	10～15名	25～40万円



超短期派遣スキル育成型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
タイ(異文化PBL)	チューラーロンコーン大学	8～9月	10～15名	25～40万円
アメリカ合衆国 (リーダーシップ育成)	ジョージア工科大学	2～3月	10～15名	25～40万円

2023年度実施については、決定次第グローバル理工人育成コースのウェブサイトでお知らせします。



語学

語学力を強化したい方、将来の長期留学に備えたい方

2

TASTE海外短期語学学習

こんな方にオススメ!

夏休みや春休みを利用して語学力を向上させたい方!

対象の大学で実施する短期語学研修プログラムに参加する者に対して申込の手続き支援と単位付与、経済支援を行います。

●語学研修プログラムへの応募は各自

主な応募資格	●学士課程学生、修士課程学生 ●TOEIC 500点以上またはそれと同等の英語能力を有する者
人数	年間30人程度(予定)
応募締切	夏派遣:3～7月、春派遣:12～1月 ※各対象大学への申込はこれより早い。各自で申し込むこと。
問い合わせ先	Taki Plaza B1F 留学情報館:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs

TASTE海外短期語学学習の留学先

※例年の実施内容に基づいて記載しています。2023年度の最新情報はウェブサイトを参照。

夏派遣

対象国・地域	対象大学	授業料(宿舍、諸費用別)	日程
アメリカ合衆国(英語)	ワシントン大学	USD1,650	6～9月の3週間
	カリフォルニア大学バークレー校	USD550/unit	7～8月の3～6週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD1,950	7～9月の4週間
カナダ(英語)	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD2,700	6～9月の4週間
	ウォータールー大学	CAD1,640	6～8月の4週間
フランス(フランス語)	レンヌ第二大学	EUR590～EUR1,040	6～8月の2～4週間
ドイツ(ドイツ語)	ベルリン工科大学	EUR610	7月の2週間
	ハノーバー大学	EUR620	7～8月の4週間
台湾(中国語)	国立台湾大学*	USD1,875	8月の4週間

春派遣

対象国・地域	対象大学	授業料(宿舍、諸費用別)	日程
アメリカ合衆国(英語)	ワシントン大学	USD1,650	2～3月の3週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD1,950	2～3月の4週間
カナダ(英語)	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD2,750	2～3月の4週間
フィリピン(英語)	デラサール大学*	PHP25,650	2～3月の4週間
台湾(中国語)	国立台湾大学*	USD1,725	3月の3週間

*の大学は各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に留学情報館に申し込むこと。



シーズンプログラム

協定校等で授業受講・研究を体験したい方

3 協定校シーズンプログラム

海外協定校のサマースクールやウィンタースクールに参加し、世界各国の学生と共に主に英語で専門科目の授業受講や研究を行う。参加者には、単位付与や手続き支援が用意されている。協定校への申し込みは各自で行う。(*印の大学を除く)
※例年の実施内容に基づいて記載しています。2023年度の最新情報はウェブサイトを参照。

こんな方にオススメ!

海外のトップクラスの大学の授業を受けてみたい方!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs

問い合わせ先

留学情報館:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp



留学先	タイプ	費用	日程	東工大締切
カリフォルニア大学 バークレー校 (アメリカ)	講義 受講	授業料USD570/ unit その他	5月～8月の3～12週間	3月～5月
ブリティッシュ・ コロンビア大学 (カナダ)	講義 受講	参加費CAD5,450 (宿舍込)	6月と7月の4週間	4月～5月
リンシェーピン大学 (スウェーデン) *	講義 受講	5名まで 授業料免除 (宿舍別)	7月の4週間	2月
アーヘン工科大学 (ドイツ)	講義 受講	授業料 EUR1,990～3,750 (宿舍別)	6月～9月の2～4週間	4月～6月
ベルリン工科大学 (ドイツ)	講義 受講	授業料 EUR950～2,340 (宿舍別)	7月～8月の2～4週間	5月～6月
ハノーバー大学 (ドイツ) *	研究	参加費 EUR2,700 (宿舍込)、 EUR400/月の奨学金	5月～7月の11週間	2月
デンマーク工科大学 (デンマーク) *	講義 受講	3名まで授業料免除	6月～8月の3～9週間	2月
グルノーブル工科大学 (フランス) *	講義 受講	2名まで 授業料免除 (宿舍別)	6月～7月の3週間	2月
トレント大学 (イタリア) *	講義 受講	参加費 EUR450 (宿舍込)	1月～2月の2週間 7月の2週間	9月 3月
ボン・ゼ・ショセ (フランス) *	講義 受講	EUR500 または授業料免除	9月～1月	3月
オックスフォード大学 (イギリス)	講義 受講	授業料GBP3,850	6月～8月の6週間	4月
シンガポール工科デザイン大学 (シンガポール) *	研究	2名まで 授業料免除 (宿舍別)	6月～8月の11週間	1月
南洋理工大學 (シンガポール) *	講義 受講	1名まで 授業料免除 (宿舍別)	6月～7月の2～6週間	3月
パリ・テック (フランス)	講義 受講	参加費 EUR2,650 (宿舍込)	7月の2週間	5月

*の大学は授業料免除など優遇がある。各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に留学情報館に申し込むこと。



交流

海外の学生や研究者との交流を通して、新たな見識を広げたい方

4 Tokyo Tech-AYSEAS (エイシアス) Tokyo Tech-Asia Young Scientist and Engineer Advanced Study Program

東工大生がアジアに赴き、現地・近隣国の大学生と共に企業・政府機関・大学などを訪問する。参加学生は、科学者・技術者の卵として日本も含めたアジアの開発・発展における科学技術の役割というテーマの下、現地調査で得た知見に基づきディスカッションを行い、現地訪問最終日に各ディスカッショングループとしての結論を発表する。



こんな方にオススメ!

語学力を向上させたい方! 海外で友達を作りたい方!

https://www.titech.ac.jp/public-relations/global/featured/ayseas

留学先	2023年度:タイ	期間	8月下旬～9月上旬の10日程度。事前学習あり。
主な応募資格	● 東工大正規課程学生(学士、修士) ● 国籍・性別・学年・学院・系・コース等は不問 ● プログラムは全て英語で行われるため、TOEFL iBT80またはTOEIC750相当の英語力が望ましい。 ※詳細は募集要項で確認のこと		
費用・奨学金	旅費(航空券・ホテルなどを含め20万円程度)は原則自費。ただし、奨学金(約7万円) 給付の可能性あり。 ※国費留学生、外国政府派遣留学生は奨学金受給の対象外。		
人数	15名		
募集締切	5月下旬頃	備考	
問い合わせ先	留学生交流課:ayseas@jim.titech.ac.jp		

5 スtockホルム国際青年科学セミナー(SIYSS)

日本国際賞創設の時期に国際科学技術財団からノーベル財団へ寄付を行った事をきっかけに、スウェーデン青年科学者連盟が毎年ノーベル賞週間に合わせてストックホルムで開催する「ストックホルム国際青年科学セミナー (SIYSS; Stockholm International Youth Science Seminar)」に毎年2名の学生(大学生・大学院生)を派遣しています。SIYSS には世界各国から派遣された若手科学者が集い、ノーベル賞授賞式など諸行事に参加したり、自身の研究発表を行います。

こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

留学先	スウェーデン・ストックホルム	期間	12月上旬の9日間
主な応募資格	● 学士課程学生、大学院課程学生 ● 18～24歳(参加時) ● 日本国籍		
費用・奨学金	日当、往復航空費、現地でのSIYSS行事参加費用等		
人数	各分野1名(計2名)※本学推薦枠:制限なし		
募集締切	6月下旬～7月上旬	備考	2020年～2022年は派遣・実施無
問い合わせ先	留学生交流課(派遣担当): hakenryugaku@jim.titech.ac.jp		

6 ASPIREリーグ Student Workshop

ASPIREリーグは、香港科技大学、韓国科学技術院、南洋理工大学、清華大学、本学のアジア理工系トップ5大学で構成されたコンソーシアム。毎年6～7月に議長校で開催されるフォーラムに合わせ、学生ワークショップを開催。特定のテーマに関連した講義や研究施設見学、グループワーク等の活動に参加し、最終日にグループ発表を行う。



こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/aspire-student-ws

留学先	加盟大学所属国(2023年は韓国(韓国科学技術院)で開催)	期間	7月上旬
主な応募資格	● 大学院課程学生 ● 英語で議論が可能であること ● ASPIREリーグ加盟大学の学生との交流に関心があること		
費用・奨学金	対面開催の場合、渡航費等、費用の一部を本学が支援する。※国費留学生、外国政府派遣学生は奨学金受給の対象外。		
人数	5名		
募集締切	5月(予定)	備考	対面開催の場合、現地での宿泊費、食事等は、主催大学が負担。保険や現地交通費、渡航費等は本人負担。 オンラインでの実施に切り替わる可能性あり。
問い合わせ先	企画・国際部 国際連携課 企画・調整グループ: aspiretokyotech@jim.titech.ac.jp		

7

グローバル人材のための科学技術デザイナー海外研修プログラム(学士課程)
グローバル人材のためのサイエンスコミュニケーション海外研修プログラム(大学院課程)

サイエンスと社会・アート・デザインは、どのようにつながり、どのように支えあっているか。両者をつなぐ、ロンドンの科学博物館や科学政策機関の現場での研修を通し、科学のさらなる広がりとポテンシャルを学び総合的なサイエンスコミュニケーション能力を高める。

 こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

留学先	イギリス	期間	10日～2週間(夏期8～9月) 予定
主な応募資格	● 学士課程3、4年生 ● 大学院課程学生(日本人学生、留学生)		
費用・奨学金	2019年度実績:6～10万円程度		
人数	10名程度		
募集締切	6月	備考	2023年度の開講については未定
問い合わせ先	環境・社会理工学院 融合理工系 野原研究室:sugimoto.a.ac@m.titech.ac.jp		

8

IDEAリーグ・サマースクール

本学が加盟しているASPIREリーグとIDEAリーグ（アーヘン工科大学、デルフト工科大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、ミラノ工科大学、シャルマーズ工科大学）は2011年より両リーグの学生交流プログラムへの学生の相互派遣を行っている。

 こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

 <https://www.titech.ac.jp/international-cooperation/global/featured/aspire#idea>

留学先	加盟大学所属国	期間	7月～10月の4-5日間(予定)
主な応募資格	● 大学院課程学生 ● 英語で議論が可能であること ● ASPIREリーグ、IDEAリーグの加盟大学の学生との交流に関心があること		
費用・奨学金	対面開催の場合、渡航費等、費用の一部を本学が支援する。 ※国費留学生、外国政府派遣学生は奨学金受給の対象外。		
人数	各スクール1名(本学での候補者選出後、IDEAリーグ事務局に推薦。各スクール開催大学による最終審査後、参加の可否が決定される。)		
募集締切	5月(予定)	備考	対面開催の場合、現地での宿泊費、食事等は、主催大学が負担。保険や現地交通費、渡航費等は本人負担。オンラインでの実施に切り替わる可能性あり。
問い合わせ先	企画・国際部 国際連携課 企画・調整グループ :aspiretokyotech@jim.titech.ac.jp		

9

AEARU Summer Institute of Extended Flipped Education

香港科技大学（HKUST）が開催する学生交流プログラム。

 こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

留学先	香港科技大学(中国・香港)	期間	7月16日～7月23日
主な応募資格	本学所属の学生(学士課程学生・大学院生)		
費用・奨学金	受講料・宿泊費(HKD1,000)、渡航費用、海外旅行保険、現地での交通費、その他個人的な活動にかかる経費は自己負担。費用の一部を本学が支援する場合がある。(国費留学生、外国政府派遣留学生は奨学金受給の対象外。)		
人数	2名		
募集締切	2023年1月26日(予定)	備考	
問い合わせ先	企画・国際部 国際連携課 企画・調整グループ :kokuren.aearu@jim.titech.ac.jp		

10

日本学術振興会(JSPS) リンダウ・ノーベル賞受賞者会議

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議は、世界各国の若手研究者の育成を目的として1951年に開設され、毎年リンダウ（Lindau:ドイツ南部のボーデン湖に面する保養地）において1週間程度の日程で開催されている。毎年30名程度のノーベル賞受賞者が招かれ、各国から集まった若手研究者に対して講演を行うと共に、参加者とのディスカッションに応じるものである。

 こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

 <https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/lindau-nobel>

留学先	ドイツ・リンダウ	期間	毎年6月から8月のうち1週間
主な応募資格	下記の①及び②の条件を満たす必要がある。 ①日本国籍を持つ者又は我が国に永住を許可されている外国人であって、申請時に本学に所属する博士課程学生又はポストド研究者であること。 ②過去に本会議に参加したことがなく、会議開催時に35歳未満であること。		
費用・奨学金	①所属機関から会場への往復交通費(外国旅費・内国旅費) ②会議参加費(主催者が提供する宿泊施設の使用に要する経費・食事が含まれる)		
人数	12名以内(2021年度募集要項より、年度、分野により異なる)※本学からの推薦人数に上限はない		
募集締切	7月中旬～8月上旬(渡航前年度)	備考	
問い合わせ先	留学生交流課(派遣担当):hakenryugaku@jim.titech.ac.jp		

11

インペリアル・カレッジ・ロンドンとの博士後期課程学生交流プログラム
Imperial-Tokyo Tech Global Fellows Programme

インペリアル・カレッジ・ロンドンの博士後期課程学生と寝食を共にしながら、専門分野の垣根を越えて世界規模の課題、持続可能な開発目標SDGsについて考える約1週間の合宿型国際交流プログラム。ロンドン又は東京において毎年交代で開催される。2022年は9月に東京で開催。本プログラム終了後、希望者はインペリアル・カレッジ・ロンドンにて3週間の研究室滞在を行うことができる。

 こんな方にオススメ!

多様なバックグラウンドを持つ学生と協力して、世界共通の課題に立ち向かいたい方。

 <http://www2.gakumu.titech.ac.jp/gtp/index.html>

留学先	東京(研究室滞在はロンドン)	期間	未定
主な応募資格	博士後期課程学生 (国籍、コース・専攻は不問、非正規課程学生を除く。)		
費用・奨学金	航空券代、海外旅行保険料は自己負担。1週間のプログラム期間中の宿泊先は大学から提供される。研究室滞在を行う場合は、3週間の宿泊費は自己負担。奨学金(8万円)給付の予定あり。		
人数	18名		
募集締切	未定	備考	修了者には博士文系教養科目の単位が付与される。
問い合わせ先	留学生交流課:intl.sgu@jim.titech.ac.jp		

12

ロンドン国際青少年科学フォーラム(LIYSF)

世界各国から科学に興味がある学生(500名程度)が集い、様々なセミナー、ディベートが実施される。著名な科学者による特別講義、英国内の大学や研究機関への訪問も行われる。

 こんな方にオススメ!

学術交流をして見識を広げたい!

 <https://www.liysf.org.uk/liysf-participation/booking-forms>

留学先	イギリス・ロンドン	期間	7月20日～8月9日の2週間
主な応募資格	16歳から21歳の学生		
費用・奨学金	オンライン:325ポンド、オンサイト:2,995ポンド(2023年ウェブサイトより、毎年変動あり)		
人数	財団に準ずる		
募集締切	6月11日(2023年開催分) 先着順 ～6月11日まで	備考	オンラインと対面のハイブリッド開催 プログラムURL: https://www.liysf.org.uk/
問い合わせ先	留学生交流課(派遣担当):hakenryugaku@jim.titech.ac.jp		



13 インドネシア バンドン工科大学サマープログラム

アジア・オセアニア地域から派遣された学生やバンドン工科大学の学生らとともに、寮生活を送りながら、講義受講、研究機関・インフラ施設訪問、現地の言語・文化学習、英語によるプレゼン、郊外へのエクスカーショに参加します。ジャワ島に位置するバンドンは夏でも冷涼な気候で知られています。



こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院ウェブサイト内「最新情報」等にて告知 <http://www.eng3.e.titech.ac.jp/>

留学先	バンドン工科大学(インドネシア・バンドン)	期間	夏季(7～8月頃)の2～3週間程度
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院に所属する学士課程・修士課程・博士課程の学生		
費用・奨学金	授業料・滞在費負担はないが、渡航費は自己負担(20万円前後)。7万円の奨学金が支給される場合がある。		
人数	2～5名程度		
募集締切	5～6月頃	備考	
問い合わせ先	国際交流支援チーム:ko.intl@jim.titech.ac.jp		

14 国立台湾科技大学サマープログラム

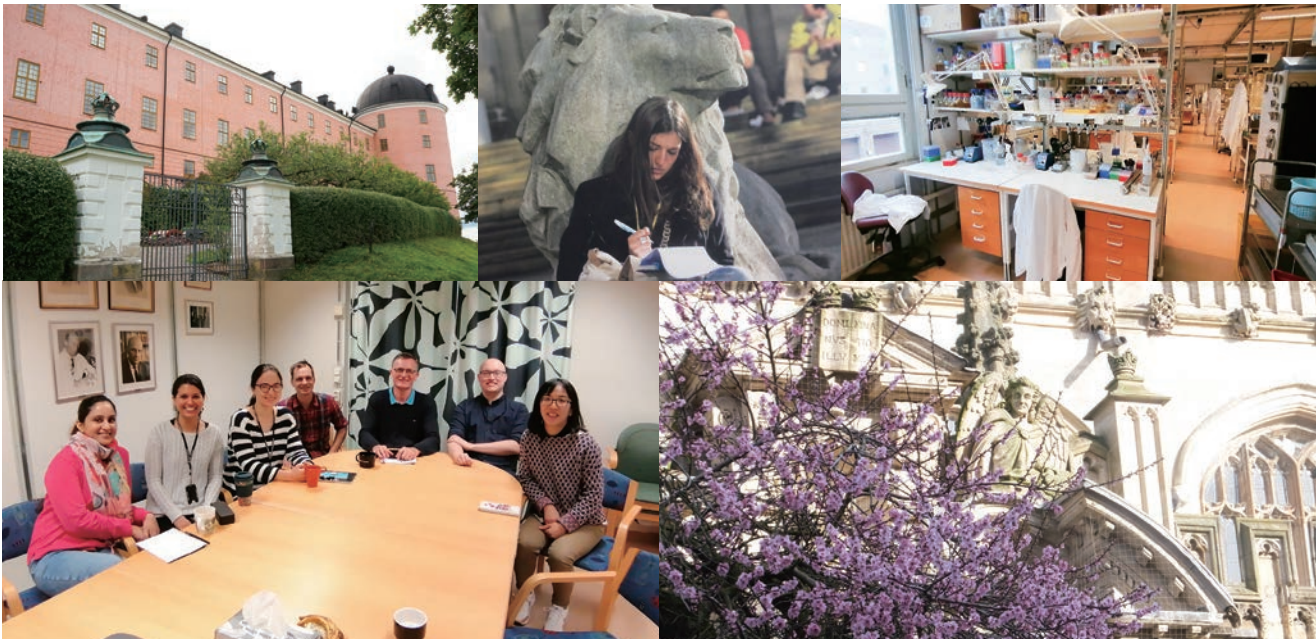
親日派も多く、空路約3時間にある台湾は、初めての留学先として最適な場所のひとつです。寮生活を送りながら、台湾科技大学の学生らとともに講義受講、台湾の言語・文化学習、台湾を代表する企業への訪問、英語によるプレゼン、郊外へのエクスカーショ等に参加します。



こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院ウェブサイト内「最新情報」等にて告知 <http://www.eng3.e.titech.ac.jp/>

留学先	国立台湾科技大学(台湾・台北)	期間	夏季(8月予定)の2週間程度
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院に所属する学士課程・修士課程・博士課程の学生		
費用・奨学金	登録費8,000台湾ドル(授業料・滞在費・現地での交通費を含む)。渡航費は自己負担。		
人数	15名程度		
募集締切	5～6月頃	備考	
問い合わせ先	国際交流支援チーム:ko.intl@jim.titech.ac.jp		

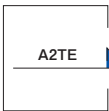


専門

短期間で専門分野の研修を行いたい方

15 TAIST-Tokyo Tech Student Exchange Program in Thailand

東工大、タイ国立科学技術開発庁、タイの5大学、タイ学術研究会議による国際連携大学院TAIST(タイスト)を活用した学生交流プログラム。Automotive and Advanced Transportation Engineering(A2TE), Artificial Intelligence and Internet of Things(AIoT), Sustainable Energy and Resources Engineering(SERE)のいずれかのプログラムに参加し、バンコク郊外のタイランドサイエンスパークにて東工大教員によるTAIST講義の受講や関連分野の研究室でインターンシップに取り組む。



こんな方にオススメ! 海外の大学で研究活動をしたい!

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/abroad/programs/skill.html#taist>

留学先	タイ	期間	9月から3月の間の1ヶ月～2ヶ月程度(各プログラムによる)
主な応募資格	● 東工大正規課程学生 ● 学年は各プログラムの募集要項参照 ● A2TE, AIoT, SEREのいずれかの分野の基礎知識を有する者	備考	
費用・奨学金	渡航費、生活費等で20～25万円程度。 一定の条件を満たす学生に、奨学金(月額7万円)が支給される可能性がある。	募集締切	各プログラムの募集要項参照
人数	15名程度	問い合わせ先	国際推進課(TAIST担当):taist@jim.titech.ac.jp

16 防災工学インターナショナルインターンシップ

国際大学院プログラム「レジリエントな都市更新に貢献する環境デザイナー育成プログラム」やこれに連動する「環境デザイン特別専門学修プログラム」で推奨する海外インターンシップで、実際に海外に赴き、現地でのカウンターパートの大学教員の指導のもと、現地学生と協働作業で、都市防災を対象とした調査・研究・資料収集・レポート作成並びに発表を行う。

こんな方にオススメ! 短期間で専門分野の研修をしたい!

https://www.titech.ac.jp/english/graduate_school/international/graduate_program_a/program6.html

留学先	台湾 国立中央大学	期間	9月の約2週間
主な応募資格	大学院課程学生(日本人学生・留学生) ※大学院科目「International Internship」履修者を優先とする	備考	オンラインでの実施に切り替わる可能性なし (渡航困難の場合は開催中止)
費用・奨学金	旅費(渡航費、滞在費等を含む10～15万円程度)は原則自費。	募集締切	5月(変更の可能性あり)
人数	10名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 准教授 千々和伸浩 :chijiwa.n.aa@m.titech.ac.jp

17 国際親善ロボットコンテスト(International Design Contest:IDCロボコン)

毎年異なるコンテストルールが初日に与えられ、国際混成チームを構成し、チーム毎に2週間でロボットを設計・製作して最終日にコンテストを行う。言葉の壁や異なる国の文化や習慣を超えて、協調してものを作る体験を通して国際的もの作りの難しさや楽しさを学ぶ。



こんな方にオススメ! もの作りと異文化体験を同時にしたい!

<http://www.idc-robocon.org/index.html>

留学先	ブラジル・フランス・アメリカ・中国・タイ・韓国・シンガポール (2023年はタイで開催予定)	期間	7月か8月の2週間
主な応募資格	サイバーフィジカルソリューション受講者	備考	数年に一度日本で開催する。2022年はオンライン開催。 2023年はハイブリッド開催の予定(オンライン開催の可能性もあり)
費用・奨学金	(交通費・滞在費・参加費基本無料)	募集締切	毎年4月
人数	4名	問い合わせ先	サイバーフィジカルソリューションのガイダンス時に説明

18 国際的建築家育成を目指した国際デザインワークショップ

このプログラムでは、中国の上海および課題敷地の都市に滞在し、現地の教員や学生等との共同により、約2週間の国際デザイン・ワークショップを行う。急速な発展を遂げている中国国内の建築・都市を視察し、調査および設計案の作成やプレゼンテーションを通して、真に国際性豊かな創造性を身につけることが期待される。

こんな方にオススメ! 短期間で専門分野の研修をしたい!

留学先	中国・同济大学ほか	期間	11月下旬頃の15日間
主な応募資格	環境・社会理工学院 建築学系 修士課程	備考	オンライン実施の可能性あり。
費用・奨学金		募集締切	8月上旬頃
人数	約15名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼 :murata.r.ac@m.titech.ac.jp



研究

数ヵ月程度、専門科目履修や研究室所属したい方

19 キャンパスアジアプラス

韓国科学技術院 [KAIST] (韓国)、清華大学 (中国)、南洋理工大学 (シンガポール) との共同運営プログラム。派遣先大学では、研究室に所属し研究活動を行うほか、授業履修も可能。サマースクールも行っている。最先端科学技術における専門性を強みとしながら、異分野の専門家たちと協働して知的成果を生み出せる人材育成をめざす。



こんな方にオススメ!

- 韓国、中国、シンガポールで経験を積みたい
- 研究室に所属し研究活動したい!

<http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/japanese/>

留学先	韓国科学技術院 [KAIST] (韓国)、清華大学 (中国)、南洋理工大学 (シンガポール)	期間	1ヶ月～10ヶ月
主な応募資格	学士課程3年生以上及び大学院課程学生 (サマースクールのみ、派遣先大学によっては学士課程1年生から参加可。 詳細はWEBサイトを確認のこと)	備考	最新情報・詳細はWEB サイトを参照のこと オンラインでの実施に切り替わる可能性あり
費用・奨学金	現地生活費 (10万以内)、奨学金支給、航空券支給、宿舎提供 (原則無償)	募集締切	WEBサイトを確認のこと
人数	年間計10名程度	問い合わせ先	留学生交流課 キャンパスアジア事務局: campusasia@jim.titech.ac.jp

20 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム (IROP)

インペリアル・カレッジ・ロンドンの夏休み時期にインペリアルの実験室に滞在し、2～3か月間にわたって受入教員の元で研究を行う。



こんな方にオススメ!

- 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	インペリアル・カレッジ・ロンドン (イギリス)	期間	7～9月の8～12週間
主な応募資格	本学正規課程の学士課程3年生以上及び修士課程学生 (変更の可能性あり)	備考	
費用・奨学金	授業料及び研究費は無料。住居費、航空券代、海外旅行保険料、その他の現地生活費は自己負担。奨学金の支給の可能性あり。	募集締切	未定
人数	4名程度	問い合わせ先	留学生交流課交流推進第2グループ: intl.sgu@jim.titech.ac.jp

21 Summer Exchange Research Program (SERP)

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がSERP協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、東工大に在籍したまま3ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。東工大に授業料を支払うことで、留学先の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。



こんな方にオススメ!

- 研究室に所属し研究活動したい!

<http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html>

留学先	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ウォーリック大学、サウサンプトン大学、ソルボンヌ大学、エコール・ポリテクニク、アーヘン工科大学、マドリッド工科大学、ウィスコンシン大学マディソン校、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、カールスタッド大学、バスク大学	期間	3か月程度、60日未満不可 出発月: 夏派遣 6・7・8月 秋派遣 9・10・11月 冬派遣 12・1・2月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生 (国籍不問) 3.5年早期卒業生については、各系の定めるルールで認められた場合には秋派遣の応募可。 ● TOEFL (IBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 - ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、その旨を記した理由書 (様式任意) を添えて申請すること。 ● 工系や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に積極的に参加している学生は選考において考慮する ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 東工大との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、他プログラムの活動の一部としての応募の場合
費用・奨学金	派遣 (留学) 経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	毎年12月もしくは1月の予定。 (但し、一部協定大学は、6月募集 (秋派遣) で追加募集する可能性あり)。 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板、教員への通知。
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号: H-106 内線: 3969 メール: ko.intl@jim.titech.ac.jp

22 AOTULE Student Exchange Program (AOTULE)

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院 (工系3学院) がAOTULE協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、東工大に在籍したまま3ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。東工大に授業料を支払うことで、留学先の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。



こんな方にオススメ!

- 研究室に所属し研究活動したい!

<http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html>

留学先	メルボルン大学 (オーストラリア)、清華大学 (中国)、国立台湾大学 (台湾)、香港科技大学 (中国)、バンドン工科大学 (インドネシア)、韓国科学技術院 (KAIST) (韓国)、インド工科大学マドラス校 (インド)、マラヤ大学 (マレーシア)、南洋理工大学 (シンガポール)、チュラーロンコーン大学 (タイ)、ハノイ工科大学 (ベトナム)、モラトゥワ大学 (スリランカ)	期間	3か月程度、60日未満不可
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する大学院課程学生 (国籍不問)。学士最終学年生は、1月募集に限り可。3.5年早期卒業生については、各系の定めるルールで認められた場合には秋派遣の応募可 ● TOEFL (IBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 - ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、その旨を記した理由書 (様式任意) を添えて申請すること。 ● 工系や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に積極的に参加している学生は選考において考慮する。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	①次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 東工大との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、他プログラムの活動の一部としての応募の場合 ②本プログラム以外にも各AOTULE加盟大学が主催する短期交換留学プログラム (学士課程学生含む) があるので、これらの詳細については国際交流支援チームまで問い合わせること。
費用・奨学金	派遣 (留学) 経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	毎年6月・9月・12月頃を予定。 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板、教員への通知。
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号: H-106 内線: 3969 メール: ko.intl@jim.titech.ac.jp

23 Asia-Oceania Strategic Universities Exchange Program (AOSU) アジア・オセアニア重点大学交流プログラム

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院 (工系3学院) がAOSU協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、東工大に在籍したまま3ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。東工大に授業料を支払うことで、留学生の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。



こんな方にオススメ!

- 研究室に所属し研究活動したい!

<http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html>

留学先	武漢理工大学 (中国)、国立成功大学 (台湾)、タマサート大学 (タイ)、シンガポール工科・デザイン大学 (シンガポール)	期間	3か月程度、60日未満不可
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する大学院課程学生 (国籍不問) 1月募集に限り学士最終学年生も可。3.5年早期卒業生については、各系の定めるルールで認められた場合には秋派遣の応募可。 ● TOEFL (IBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 - ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、その旨を記した理由書 (様式任意) を添えて申請すること。 ● 工系や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に積極的に参加している学生は選考において考慮する。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 東工大との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、他プログラムの活動の一部としての応募の場合
費用・奨学金	派遣 (留学) 経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	毎年6月・9月・12月頃を予定。 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板、教員への通知。
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号: H-106 内線: 3969 メール: ko.intl@jim.titech.ac.jp

24 工系3学院主体の部局間交流協定、または大学間交流協定を結んでいる大学との交流

前項 SERP・AOTULE・AOSU 以外の大学で旧学科 / 専攻間・部局間交流協定や大学間交流協定を結んでいる大学への派遣・留学に対する 奨学金の給付。授業料不徴収の取り決めは無し。



こんな方にオススメ!

- 研究室に所属し研究活動したい!

<http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html>

留学先	大学ウェブサイト: 全学及び部局間協定一覧参照	期間	指定なし (1年以内)
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する大学院課程学生 (国籍不問)。1月募集に限り学士最終学年生も可。3.5年早期卒業生については、各系の定めるルールで認められた場合には秋派遣の応募可。 ● TOEFL (IBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 - 但し、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、その旨を記した理由書 (様式任意) を添えて申請すること。 ● 工系や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に積極的に参加している学生は選考において考慮する。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 東工大との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、他プログラムの活動の一部としての応募の場合
費用・奨学金	派遣 (留学) 経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	毎年 1月・5～6月・9～10月の計3回を予定。 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板、教員への通知。
人数	指定なし	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号: H-106 内線: 3969 メール: ko.intl@jim.titech.ac.jp

25 物質理工学院学生交流プログラム

物質理工学院で交流協定を結んでいる大学・研究機関への派遣・留学

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	ジェノヴァ大学（イタリア）、ワルシャワ大学（ポーランド）、ヨンショーピン大学（スウェーデン）、フランス国家計量標準研究所（フランス）、ドイツ航空宇宙センター（ドイツ）、イタリア学術会議・物質化学・エネルギー技術研究所（イタリア）、フランス国立航空宇宙研究所（フランス）、武漢理工大学材料複合新技術国家重点実験室（中国）、他		
主な応募資格	● 物質理工学院の学生 ● 修士課程以上（一部学士課程学生）	期間	3か月～（2か月未満は応募不可）
費用・奨学金	別途、工系 3 学院学生国際交流プログラムに応募し、採択された場合は派遣経費の一部支援あり。不採択の場合でも、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。	募集締切	5月、8月、11月
人数	各機関1名程度	問い合わせ先	物質理工学院国際担当 mct.intl.adm@jim.titech.ac.jp

26 アーヘン工科大学博士課程学生共同指導プログラム

物質理工学院が学院単独で部局間協定を締結しているアーヘン工科大学電気工学・情報技術学部と学生を共同で指導するプログラム。参加学生は、博士課程中に自身の研究において両大学・両担当教員から指導を受けることができ、東工大の学位審査に通った後は、東工大からの学位に加え、アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	アーヘン工科大学 電気工学・情報技術学部	期間	博士課程在籍中に原則6か月以上（通算でも可）
主な応募資格	物質理工学院所属の博士後期課程学生	備考	東京工業大学の学位に加えて、アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。
費用・奨学金	原則自己負担だが、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。	募集締切	原則、渡航開始4か月前の月末
人数	2名 / 年	問い合わせ先	物質理工学院運営事務グループ mct.intl.adm@jim.titech.ac.jp

27 Tokyo Tech-MIT Student Exchange Program（MITプログラム）

MITと本学の間の原子力系単位互換、授業料不徴収を伴う約4か月の学生交換プログラム。MITでは学部授業の広範な科目を選択可能。MIT 教員の指導の下、研究活動を行うこともできる。

こんな方にオススメ! 学士4年生の秋を有効利用したい! MITの研究室に所属し研究活動したい!!

http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange-MIT.html

留学先	マサチューセッツ工科大学（MIT）（アメリカ合衆国）	期間	学士課程 4年次 9月～12月末
主な応募資格	応募時に以下の系に所属する学士課程3年生で、 留学時には学士課程4年生で特定課題研究が修了見込みの学生 （修了できない場合は留学取り消し）。修士進学する系に制約はなし。 ▶工学院 機械系／電気電子系 ▶物質理工学院 材料系／応用化学系 ▶環境・社会理工学院 融合理工学系 ● TOEFL iBT100点以上が MITの留学受入要件。 （派遣される年の 1 月末までに上記を取得できない場合は、留学取り消し） ● GPAは4.5スケールで3.2以上が目安。 ● MITは学生に対してIntellectual curiosity (知的好奇心)と研究に対する創造性あるSpark (ひらめき)を求めていることから、これに応じてMITでの学習、研究、交流活動に積極的に参加できる学生が好ましい。 ● MIT 学生は日本に深い関心を持っていることから、日本文化を身に修め、それを広める交流活動ができる学生が好ましい。	備考	世界最高峰のMITで、優れた学友、スタッフとともに切磋琢磨して最新の技術トレンドを学べる。 MITの提供するほぼ全ての学部授業科目から自由に36単位以上を履修。ただし、“Introduction of Nuclear Physics and Engineering”のみ必修科目。MIT教員の指導に基づく Undergraduate Research Opportunity Program (UROP) で研究活動も可能。
費用・奨学金	なし（応募者が各自、外部奨学金を申請・取得することを強く奨励する）	募集締切	派遣前年（学士3年）の6月末予定
人数	2名	問い合わせ先	MITプログラム事務局：ポスト番号：H-106 内線：3969 メール：mitp.admin@jim.titech.ac.jp



ダブルディグリー

本学と協定校の2つの学位取得を目指す方

28 東京工業大学・清華大学大学院合同プログラム

中国の清華大学と東工大の双方に修士課程学生として在籍し、両大学の教員の指導を受けながら研究を行い、両大学の修士号取得を目指すダブルディグリープログラム。修了に要する標準期間は東工大で2年6ヵ月、清華大学で2年間。（清華大学での滞在期間1年間）。ナノテクノロジーコース、バイオコース、社会理工学コースの3コースから選択可能。（使用言語：中国語、日本語、英語）



こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

http://www.ipo.titech.ac.jp/tsinghua/

留学先	中国・清華大学	期間	2年6ヶ月
主な応募資格	学士の学位を有していること（見込みを含む）	備考	● 入学試験出願の際に本プログラムを志望し、入試に合格する必要がある。 ● 中国籍の学生は応募できない。 ● 日本国籍以外の学生は事前に相談すること。
費用・奨学金	● JASSO海外留学支援制度 ● 中国政府奨学金 ● その他奨学金等に応募資格あり ● 留学先学費：免除 ● 往復渡航費：25万円程度 ● 留学先生活費：70万円～200万円程度（中国政府奨学金の獲得状況により変化）		
		募集締切	2023年6月14日
人数	10名程度	問い合わせ先	留学生交流課（清華事務室）・入試課

29 東京工業大学・L'École des Ponts ParisTech（ボンゼジョセ）ダブルディグリープログラム

フランス L'École des Ponts ParisTech との部局間協定に基づいた学習を修了し、最短3年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。（使用言語：フランス語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	L'École des Ponts ParisTech（ボンゼジョセ）	期間	3 年間（フランスにてフランス語研修（0.5 年）と L'École des Ponts ParisTech 正規課程（1.5 年）の計2年間、東工大にて1年間）
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院所属の修士課程学生	備考	オンラインでの実施に切り替わる可能性なし（ただし渡航延期によるオンラインでの講義受講などあり得る）
費用・奨学金	ボンゼジョセでの学費、保険加入料、住居費、その他生活費は自己負担。ただしボンゼジョセからの補助や、フランス政府奨学金なども期待できる。	募集締切	6 月（予定）※修士課程入学前の学士課程4年次に応募となる
人数	数名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 准教授 千々和伸浩：chijiwa.n.aa@m.titech.ac.jp

30 韓国科学技術院－東京工業大学 ダブルディグリープログラム

韓国科学技術院（KAIST）との部局間協定に基づいた学習を修了し、標準2.5年間でKAIST からMaster of Science・東工大から修士（工学）の学位を取得する。（使用言語：英語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	韓国科学技術院（KAIST）	期間	2.5年間（東工大に1.5 年と韓国科学技術院正規課程に1年）
主な応募資格	工学院機械系・システム制御系に在籍中の修士課程学生もしくは進学予定の 本学学部4年生（KAISTによる選考がある）。	備考	オンラインでの実施に切り替わる可能性なし（ただし渡航延期によるオンラインでの講義受講などあり得る） コースオリエンテーションでプログラムの紹介を行う。
費用・奨学金	奨学金なし。ただし韓国科学技術院の学費は免除される。	募集締切	4月・10月（予定）
人数	若干名	問い合わせ先	kaist.eng@jim.titech.ac.jp

31 台湾国立陽明交通大学とのダブルディグリープログラム

台湾国立陽明交通大学との協定に基づいた学習を修了し、最短2年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。（使用言語：英語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	台湾国立陽明交通大学	期間	台湾国立陽明交通大学での滞在期間は最短1年間
主な応募資格	工学院電気電子系に進学予定の本学学士課程4年生 物質理工学院修士課程に進学予定の本学学士課程4年生 （台湾国立陽明交通大学が選考を行う）	備考	2024年度より物質理工学院の学生も応募可能となる。 物質理工学院 問い合わせ先：mct.intl.adm@jim.titech.ac.jp
費用・奨学金	台湾国立陽明交通大学の授業料免除及び奨学金等支給	募集締切	3月
人数	数名	問い合わせ先	inquiry@ee.e.titech.ac.jp

IAESTEは、理工学系学生のための国際インターンシップ（最短8週間～最長52週間・海外企業又は海外の大学の現場研修）を仲介している国際非政府団体。広い国際的視野を有するエンジニアを養成することを目的として、これまでに国内外で約35万人の学生を相互交換している。詳細についてはWebサイトを参照。東工大からも例年2～5人程度の参加者がいる。



 こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

 <http://www.iaeste.or.jp/>

派遣先	IAESTE加盟国(約80カ国)	期間	8週間～52週間(夏期2～3ヶ月が一般的)
主な応募資格	●研修開始時に、日本の大学の学士課程3年生以上及び大学院課程に在籍している者 ●国籍不問	備考	
費用・奨学金	研修先より滞在費支給 参加費 55,000円、渡航費、ビザ取得費、海外旅行保険費等は 自己負担	募集締切	派遣前年度の10月中旬
人数	定員なし	問い合わせ先	IAESTE事務局: office@iaeeste.or.jp

日本の理工系学生を対象に 1 年間 EU 加盟国で研修を行うプログラムです。語学研修と企業研修（インターンシップ）で構成されており、語学研修では、企業研修で使用する言語の習得をめざし、企業研修に臨みます。



 こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

 <https://www.eu-japan.eu/ja/training-young-scientists-engineers>

派遣先	EU加盟国企業	期間	1年間(4月～翌3月まで)
主な応募資格	応募時点で、日本の大学において理工学系の学士課程3～4年生、大学院に在学している者。日本国籍者。英語要件あり。	備考	主催団体に直接応募。
費用・奨学金	日本出発時に70万円、現地にて5,775ユーロ支給。(年度ごと変動あり) 欧州セミナー受講料、語学研修中の授業料およびホームステイ代(寮費)は日欧産業協力センターが負担。	募集締切	前年度9月
人数	30名程度	問い合わせ先	日欧産業協力センター ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ担当: VinE@eu-japan.gr.jp



留学と就職活動について

留学に行ってみたいけれども、日本でインターンシップや就職活動があり、留学と就活を両立できるのか、ということで迷われる人は結構多いでしょう。ただ、スケジュールをきちんと押さえて、ある程度の準備をして臨むことで、留学と就職活動を両立した東工大の先輩はたくさんいます。



キャリア
アドバイザー

守島利子
特任教授

■ 企業は留学経験者をどのように思うのか

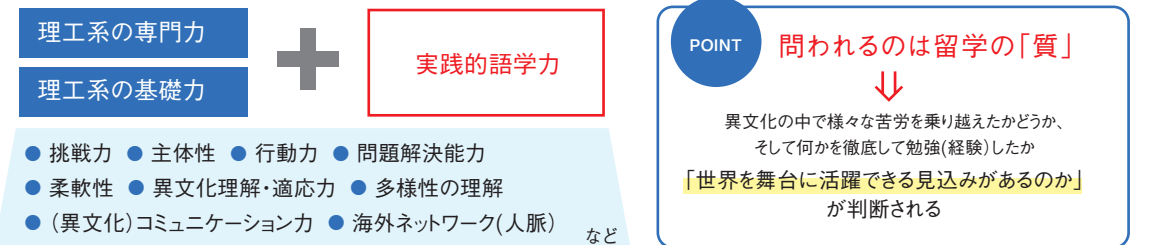
就職はその企業に自分が入りたいという気持ちだけでは成立しません。企業の人
がその人を採用したいと思わなければ入社は叶わないのです。では、企業は留学
経験者をどのように思うのでしょうか？企業が留学経験者を採用する理由というこ
とで、「優秀な人材の確保のため」ということが回答の約8割というデータがありま
す。何をもって優秀とするのかは、例えば、海外の知らない場所で母国語とは違う
言語で授業や研究内容を理解して修得する、これは優秀でないと難しいです。
また、そういう学問や知識に関することだけではなく、留学に行っていない学生と比
べて、主体性、実行力、柔軟性などがなるということも高く評価しています。ちなみ

に、これらの力は経済産業省が提唱した「社会人基礎力」（社会の中で活躍し続けるために求められる力）の中でも、企業が採用選考時に重視する力として上位に挙げられているものです。ある程度、長期の留学となると留年ということもありますが、これに関しても「特に気にしない」としている企業が7割以上あります。また、各企業はグローバルなビジネス展開をしており、世界で活躍できる人材を求めています。もう一歩進んで「ダイバーシティ&インクルージョン」（多様性を受け入れて個性を認め一体となって働くこと）を掲げている企業もあり、これを理解でき実践できることに留学経験は大きく影響するものだと思います。

■ 東工大留学経験者の企業へのアピールポイント

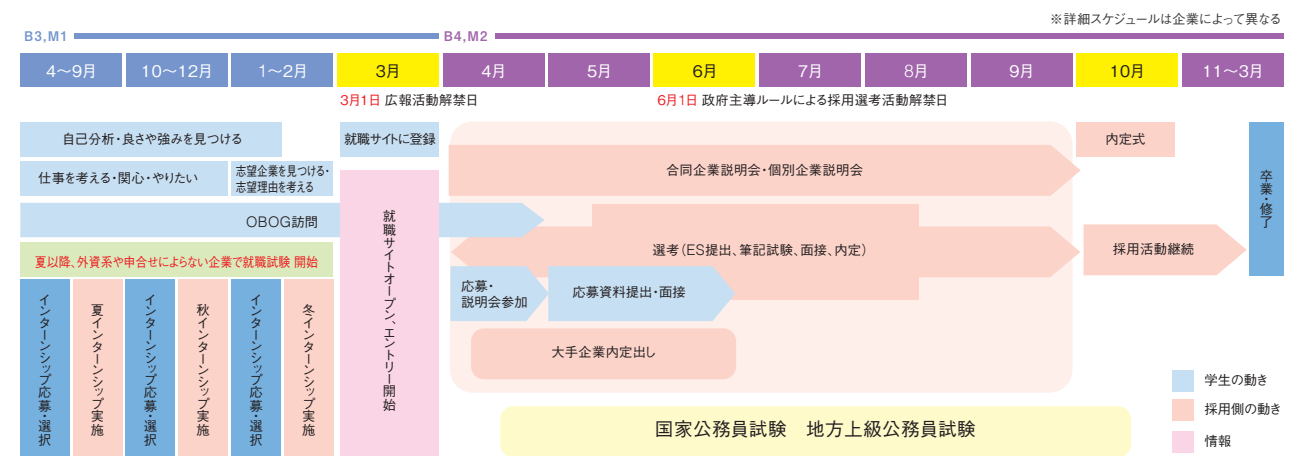
文部科学省の「日本人の海外留学生数」のデータによると、コロナ禍前の2019年の留学者数は約11万人で、大学在学者の3.8%であり、そのうち1か月以上の留学経験者は1.2%です。皆さんは、この数値をどう見るでしょうか？ 文系学生も含めた全学生のデータであり、理工系学生だけで捉えると、もっと割合は少なくなります。留学に行く人が少ないので不安を感じるかもしれませんが、しかし、得るものも多くなります。希少な経験であり、他の学生との差別化に繋がることにのみならず、しかし、ただ留学

すれば良いというのではなく、そこでの経験や学びが問われます。ようやく現地に慣れた頃だったり、語学研修だけでなんとなく感覚がつかめてきた頃に帰ってくるとなると、就活の場ではあまり評価はされないでしょう。日本人がいない環境で語学・学問に集中するとか、他国人と一緒に行動をして、その人たちの考え方や、背景にある文化を知りたいなど、ダイバーシティ&インクルージョンを体感するくらいであってほしいと思います。留学経験で「問われるのは質」。これは特に意識してください。



■ 就職活動に関わるスケジュール

日本政府が企業に要請している就職に関するスケジュールです。これは2024年3月卒業・修了の学生まで適用されます。それ以降に関しては、今後の発表に注意してください。キャリアアドバイザー主催のガイダンス等でもお知らせします。



留学と就職活動の時期が重なるのであれば、その前に業界や企業研究をしておいたり、低学年対象のインターンシップもあるので、そういうものを活用することもできます。また、今はネットを使って企業にエントリーしたり、ウェブサイトから企業研究をすることもでき、面接もオンラインという企業が多いので、海外から就職試験を受けることも可能となっています。留学・就職活動に関して悩んだり困ったりしたら、是非、キャリアアドバイザールームに相談にいらしてください。



<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career/counseling>

結論

- 留学と就職活動を両立させるのは、やり方次第で十分に可能。
- 留学による1年程度の遅れは、長いキャリアの中では大きな問題ではない。大学の留学プログラムを効果的に活用しよう。
- 実践的な語学力アップの他、主体性・行動力・柔軟性等が養われ、広い視野を持ち、海外人脈を築くことも可能。社会に出てからも必要なことが身につく。
- 留学への挑戦や、現地での問題解決、異文化コミュニケーションと多様性の理解等を経験することは、これからの（職業）キャリアに有益。
- 企業でのグローバルな活躍が期待される今、「理工系＋良質な海外経験」は、就職活動でもかなりの強みとなる。

派遣交換留学とは

東京工業大学と授業料等不徴収協定を結んでいる海外の大学（協定校）が1学期～1年間学生を交換する留学プログラムです。現地の大学では自身の専攻に応じた授業履修・研究、課外活動を通じて様々な経験ができます。本プログラムに参加する学生は将来のキャリアを見据えて計画立案から実行、振り返りまでを丁寧に行うことで、グローバルに活躍できる人材になることを目指します。



問い合わせ先	留学生交流課
Taki Plaza B1F E-mail hakenryugaku@jim.titech.ac.jp	

派遣交換留学のポイント

- **世界トップレベルの大学への留学**
東工大の協定校は世界的にも評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られやすく、現地でのサポートも充実しています。

● **交換留学生として優遇**
寮などの滞在先を優先的に確保できるケースが多く、現地語の授業を無料で受講できたり、交換留学生として配慮してもらえます。
- **留学先の協定校では授業料の支払い不要**
留学先の授業料が不要になる代わりに、留学期間中の身分は「休学」ではなく原則「留学」となるため、在籍年限に含まれます。

● **留学で取得した単位は東工大の単位として認定可能**
- **プログラム付属で返済不要の奨学金に申請可能**
支給額や支給可能人数は年度・地域によって変動しますが、大学推薦を得ることで、各種民間財団の奨学金にも応募が可能です。

応募条件

- 応募時・留学中・留学終了時に、本学正規課程に在籍する学生（私費留学生も応募可）
- 協定校が定める交換留学生の資格・条件を満たすもの（語学要件・所属学院・学年等）
- 語学要件が英語のみの場合の学内最低基準：**TOEFL-IBT 60 / IELTS 5.5 / TOEFL ITP 497**

募集人数

全**72**の協定校へ、合計約**200**名が留学可能

留学までの道のり



学内選考に向けた準備					P9「留学の準備」も参照ください!	学内選考
出発の1年半～1年前						
To Do リスト	●「留学」を本格的に検討 ●留学情報館や 留学コンシェルジュの活用 ☑ 計画の立て方 ☑ 留学先の決め方 ☑ 奨学金について	●留学の具体化に向けた 計画案の作成 ●留学期間も含めた 学修計画全体を 指導教員等と相談	●留学関連イベントへの参加 ☑ 留学フェア（毎年春に開催） ☑ 留学報告会や座談会（随時開催） ☑ 募集説明会（毎年夏頃開催） ☑ 各国大使館等の外部主催イベント	●応募書類の準備 ☑ 英文エッセイの作成 ☑ 面接対策 ●語学スコアの取得		
	●English Caféへ参加	●学内語学集中講座の受講 （夏期・春期開講）				
語学力 強化	継続して強化（各種語学試験の準備、受験）					

募集選考スケジュール

募集回	対象出発時期	学内応募締切	面接時期
秋出発本募集	2024年7月-12月	2023年 9月	2023年 10月
秋出発追加1次募集		2023年 12月	2023年 1月
秋出発追加2次募集		2024年 4月	2024年 4月
春出発本募集	2025年1月-6月	2024年 5月	2024年 6月
春出発追加募集		2024年 6月	2024年 7月

¥ 留学中にかかる費用（2021年-22年派遣・期間6か月）

韓国に留学したAさんの場合		スイスに留学したBさんの場合	
・渡航費：2万円 ・住居費：2万円/月 ・生活費：7万円/月 ・その他：約7万円/月	合計金額 約100万円	・渡航費：20万円 ・住居費：8万円/月 ・生活費：10万円/月 ・その他：10万円/月	合計金額 約120万円

※【その他】には各種保険、ビザに関する費用、教科書代等が含まれます。



ウプサラ大学に留学中の川口さんからのご紹介



川口 潤 さん
生命理工学院 博士課程2年
(2022年度現在)

卒業後は研究者を志望している私は、自分の見識を広めるためそしてキャリア形成のために海外での研究留学をしたいとこれまで考えており、今は念願が叶ってスウェーデンのウプサラ大学にて研究留学をしています。私は微生物の研究をするグループに所属していますが、研究環境は東工大と違うことばかりで驚かされます。特に印象的なのは、研究者や博士学生の多様性です。ジェンダー平等が当たり前の北欧らしく男女比はほぼ一対一で、それぞれの出身国もスウェーデン人が珍しく感じるほどに多種多様です。他にも、研究室間での交流がとても盛んであることや年齢に関係なく積極的に議論を交わすこと、飲み放題のコーヒー・紅茶やスウェーデン伝統のFika（中休をとってお菓子とコーヒーをお供に雑談すること）など、研究と文化の両方で日本ではできない経験をしています。英語などで苦労することもありますが、苦労以上のものを得られていると感じており、残りの留学期間も楽しく学んでいけそうです。



Corridor Dinner



ウプサラ大聖堂

学内選考通過してから、渡航までの準備				✈️ 出発！
出発8か月前	出発6か月前	出発3か月前	出発3か月～1か月前	
●大学推薦/個人応募の奨学金へ応募 ●協定校への出願準備 ☑ CVやMotivation letterの作成	●協定校への出願	●協定校から受入許可書受領 ●渡航前オリエンテーションへの参加 ●滞在先の確保 ●Visa等の準備	●渡航前の学内手続 ●海外旅行保険加入 ●航空券の手配等	
●English Caféへ参加	●学内語学集中講座の受講 (夏期・春期開講)			
英語だけでなくドイツ語やフランス語など、留学先の現地語の授業への参加				



派遣交換留学対象校一覧

アジア

英語の 学内要件 について

S:TOEFL iBT75 /IELTS 6.0以上 A:TOEFL iBT65 / IELTS 6.0以上 B:TOEFL iBT60 / IELTS5.5以上
※各協定校の派遣先要件については「web版派遣交換留学対象校一覧」から確認すること。
<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver>



アイコンの見方 語学要件 学業要件 出願先(専攻)の制限あり

中国 / China 西安交通大学 Xi'an Jiaotong University アカデミックカレンダー First semester: 8月～2月 Second semester: 2月～7月 派遣先要件有: 英語・中国語 募集人数 3人	中国 / China 清華大学 Tsinghua University アカデミックカレンダー Autumn semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 学内要件B / 派遣先要件有: 中国語 募集人数 2人	中国 / China 大連理工大学 Dalian University of Technology アカデミックカレンダー Autumn semester: 9月～1月 Spring semester: 3月～7月 派遣先要件有: 英語・中国語 募集人数 2人
中国 / China 浙江大学 Zhejiang University アカデミックカレンダー Autumn/winter: 9月～1月 Spring/summer: 2月～6月 学内要件B / 派遣先要件有: 中国語 募集人数 3人	中国 / China 中国科学技術大学 University of Science and Technology of China アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 派遣先要件有: 英語 GPA要件有 専攻の制限有 募集人数 2人	中国 / China 同済大学 Tongji University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 派遣先要件有: 英語・中国語 募集人数 2人
中国 / China 上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University アカデミックカレンダー Autumn Semester 9～1月 Spring Semester 2～6月 派遣先要件有: 英語・中国語 GPA要件有 出願先制限有 募集人数 2人	中国 / China 香港科技大学 The Hong Kong University of Science and Technology アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～12月 Spring semester: 2月～5月 学内要件S 出願可能な学部に制限有 募集人数 2人	韓国 / Korea 漢陽大学 Hanyang University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～12月 Spring semester: 3月～6月 派遣先要件有: 英語・韓国語 GPA要件有 出願先制限有 募集人数 3人

韓国 / Korea 延世大学 Yonsei University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～12月 Spring semester: 3月～6月 派遣先要件有: 英語・韓国語 GPA要件有 募集人数 3人	韓国 / Korea 韓国科学技術院 KAIST/Korea Advanced Institute of Science and Technology アカデミックカレンダー Fall classes: 8月～12月 Spring classes: 3月～6月 派遣先要件有: 英語 GPA要件有 募集人数 4人	韓国 / Korea ポーハン科学技術大学 Pohang University of Science and Technology アカデミックカレンダー Fall session: 9月～12月 Spring session: 2月～6月 派遣先要件有: 英語 GPA要件有 募集人数 3人
韓国 / Korea ソウル国立大学 Seoul National University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～12月 Spring semester: 3月～6月 学内要件S GPA要件有 出願可能な専攻に制限有 募集人数 4人	韓国 / Korea 高麗大学 Korea University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～12月 Spring semester: 3月～6月 学内要件B GPA要件有 出願先制限有 募集人数 2人	台湾 / Taiwan 国立清華大学 National Tsing Hua University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 学内要件B 募集人数 3人
台湾 / Taiwan 国立中央大学 National Central University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 学内要件B 募集人数 3人	台湾 / Taiwan 国立台湾大学 National Taiwan University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 学内要件B / 派遣先要件有: 中国語 GPA要件有 出願可能な学部に制限あり 募集人数 3人	台湾 / Taiwan 国立陽明交通大学 National Yang Ming Chiao Tung University アカデミックカレンダー Fall semester: 9月～1月 Spring semester: 2月～6月 学内要件B 募集人数 2人

フィリピン／Philippines

デラサール大学
De La Salle University

アカデミックカレンダー
Term1: 10月～2月
Term2: 2月～5月
Term3: 5月～9月

🌐 派遣先要件有：英語
🎓 GPA 要件有

募集人数 2人

フィリピン／Philippines

フィリピン大学ディリマン校
University of the Philippines, Diliman

アカデミックカレンダー
First semester: 9月～12月
Second semester: 1月～5月

🌐 学内要件B

募集人数 2人

インドネシア／Indonesia

インドネシア大学
Universitas Indonesia

アカデミックカレンダー
Semester 1: 8月～1月
Semester 2: 2月～6月

🌐 派遣先要件有：英語
🎓 GPA 要件有

募集人数 3人

タイ／Thailand

キングモンクット工科大学トンブリ校
King Mongkut's University of Technology Thonburi

アカデミックカレンダー
Semester 1: 8月～12月
Semester 2: 1月～5月
Semester 3: 6月～8月

🌐 派遣先要件有：英語

募集人数 2人

タイ／Thailand

アジア工科大学院
Asian Institute of Technology

アカデミックカレンダー
First Semester: 8月～12月
Second Semester: 1月～5月

🌐 学内要件B

募集人数 2人

シンガポール／Singapore

シンガポール国立大学
National University of Singapore

アカデミックカレンダー
Semester 1: 8月～12月
Semester 2: 1月～5月

🌐 学内要件S
🎓 GPA 要件有
⚠️ 出願可能な学部に制限有

募集人数 4人 (2022年度)
※募集人数は毎年変更あり

インドネシア／Indonesia

バンドン工科大学
Institut Teknologi Bandung

アカデミックカレンダー
Semester I: 8月～12月
Semester II: 1月～5月

🌐 学内要件B

募集人数 5人

インドネシア／Indonesia

ガジャマダ大学
Universitas Gadjah Mada

アカデミックカレンダー
Odd semester: 8月～12月
Even semester: 2月～6月

🌐 派遣先要件有：英語

募集人数 2人

タイ／Thailand

チュラーロンコーン大学
Chulalongkorn University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 8月～12月
Spring semester: 1月～5月

※一部3学期制の学部有

🌐 派遣先要件有：英語
🎓 GPA 要件有

募集人数 3人

シンガポール／Singapore

南洋理工大学
Nanyang Technological University

アカデミックカレンダー
Semester 1 (Fall): 8月～12月
Semester 2 (Spring): 1月～5月

🌐 学内要件S
🎓 GPA 要件有
⚠️ 出願可能な学部に制限有

募集人数
Fall:1人 Spring:2人 (2022年度)
※募集人数は毎年変更あり

ベトナム／Vietnam

ハノイ工科大学
Hanoi University of Science and Technology

アカデミックカレンダー
Autumn semester: 8月～1月
Spring semester: 1月～6月

🌐 学内要件B
🎓 GPA 要件有

募集人数 2人

インド／India

インド工科大学マドラス校
Indian Institute of Technology Madras

アカデミックカレンダー
Semester 1: 7月～12月
Semester 2: 1月～5月

🌐 学内要件B
⚠️ 出願可能な学部に制限有

募集人数 2人

タイ／Thailand

カセサート大学
Kasetsart University

アカデミックカレンダー
First semester: 8月～12月
Second semester: 1月～5月

🌐 学内要件B
🎓 GPA 要件有

募集人数 3人

タイ／Thailand

タマサート大学
Thammasat University

アカデミックカレンダー
First semester: 8月～12月
Second semester: 1月～5月

🌐 派遣先要件有：英語
(出願先の専攻によって要件が異なる)
🎓 GPA 要件有

募集人数 5人

タイ／Thailand

キングモンクット工科大学ラカバン校
King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang

アカデミックカレンダー
First semester: 8月～12月
Second semester: 1月～5月

🌐 学内要件B

募集人数 3人

トルコ／Turkey

中東工科大学
Middle East Technical University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

🌐 学内要件A

募集人数 3人

トルコ／Turkey

イスタンブール工科大学
Istanbul Technical University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

🌐 派遣先要件有：英語

募集人数 2人

オーストラリア／Australia

メルボルン大学
The University of Melbourne

アカデミックカレンダー
Semester 2: 7月～11月
Semester 1: 2月～6月

🌐 派遣先要件有
🎓 学業成績 70/100 以上
⚠️ 出願可能な学部に制限有

募集人数 5人

カナダ／Canada

ウォータールー大学

University of Waterloo

アカデミックカレンダー

Fall term: 9月～12月

Winter term: 1月～4月

派遣先語学要件有

※出願時の専攻によってはGREが必要

学業成績要件有

出願可能な学部

に制限有

募集人数

2人 (2023年度)

※募集人数は毎年変更あり

アメリカ合衆国／U.S.A

ジョージア工科大学

Georgia Institute of Technology

アカデミックカレンダー

Fall term: 8月～12月

Spring term: 1月～5月

派遣先語学要件有

※修士以上の学生は出願時GREが必須

募集人数

12セメスター (2023年度)

※募集人数は毎年変更あり

アメリカ合衆国／U.S.A

ワシントン大学

University of Washington

アカデミックカレンダー

Autumn quarter: 9月～12月

Winter quarter: 1月～3月

Spring quarter: 3月下旬～6月

派遣先語学要件有

GPA要件有

履修可能な授業に制限有 / 修士課程の学生は応募不可

募集人数

3人 (2023年度)

※募集人数は毎年変更あり

ノルウェー／Norway

ノルウェー工科・自然科学大学

Norwegian University of Science and Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 8月～12月

Spring semester: 1月～6月

派遣先要件有: 英語

募集人数

3人

※Faculty of Architecture and Fine Artsは修士以上の学生のみ、かつ1名のみ推薦可

デンマーク／Denmark

デンマーク工科大学

Technical University of Denmark

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 9月～12月

Spring semester: 2月～6月

学内要件A

募集人数

2人

イギリス／U.K.

ストラスクライド大学

University of Strathclyde

アカデミックカレンダー

Semester 1: 9月～12月

Semester 2: 1月～5月

派遣先要件有

※6ヵ月以内の滞在の場合、ビザ発行の英語要件は不要

※複数の学科にてグループプロジェクトの講義 (PBL型教育) を受講可

履修可能な科目に制限有

募集人数

5人

フィンランド／Finland

アアルト大学

Aalto University

アカデミックカレンダー

First semester: 8月～12月

Second semester: 1月～7月

学内要件A / 派遣先要件有: 英語

(出願先の専攻によって語学要件が異なる)

出願可能な学部

に制限有

募集人数

5人

※School of Arts, Design and ArchitectureのDepartment of Architectureは1名のみ推薦可

フィンランド／Finland

ラッペンランタ-ラハティ工科大学

Lappeenranta-Lahti University of Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 8月～12月

Spring semester: 1月～6月

派遣先要件有: 英語

募集人数

2人

スウェーデン／Sweden

スウェーデン王立工科大学

KTH/Royal Institute of Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 8月～1月

Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数

5人

イギリス／U.K.

ヨーク大学

University of York

アカデミックカレンダー

Semester 1 All student: 9月～2月

Semester 2 undergraduate: 2月～6月

Semester 2 postgraduate: 2月～9月

派遣先要件有

(出願先の専攻によって異なる)

GPA要件有

出願可能な学部

に制限有

募集人数

3人

ベルギー／Belgium

ゲント大学

Ghent University

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～1月

Second semester: 2月～7月

派遣先要件有: 英語

出願可能な学部

に制限有

募集人数

2人

オランダ／Netherlands

デルフト工科大学

Delft University of Technology

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～1月

Second semester: 2月～7月

派遣先要件有: 英語

出願可能な学部

に制限有

募集人数

5人

スウェーデン／Sweden

シャルマーズ工科大学

Chalmers University of Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 9月～1月

Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数

3人

スウェーデン／Sweden

リンシェーピン大学

Linköping University

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 8月～1月

Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数

3人

スウェーデン／Sweden

ウプサラ大学

Uppsala University

アカデミックカレンダー

Autumn Semester: 8月～1月

Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数

5人

ドイツ／Germany

ミュンヘン工科大学

Technical University of Munich

アカデミックカレンダー

Winter semester: 10月～3月

Summer semester: 4月～9月

学内要件A / 派遣先要件有: ドイツ語

募集人数

4人

ドイツ／Germany

シュツツガルト大学

University of Stuttgart

アカデミックカレンダー

Winter semester: 10月～3月

Summer semester: 4月～9月

派遣先要件有: 英語・ドイツ語

募集人数

5人

ドイツ／Germany

ハノーバー大学

Leibniz Universität Hannover

アカデミックカレンダー

Winter semester: 10月～3月

Summer semester: 4月～9月

学内要件A

募集人数

3人

ドイツ / Germany

アーヘン工科大学

RWTH Aachen University

アカデミックカレンダー

Winter semester: 10月～3月

Summer semester: 4月～9月

学内要件 A / 派遣先要件有:ドイツ語

募集人数 5人

ドイツ / Germany

ベルリン工科大学

Technische Universität Berlin

アカデミックカレンダー

Winter semester: 10月～3月

Summer semester: 4月～9月

派遣先要件有:英語・ドイツ語

募集人数 3人

フランス / France

アール・ゼ・メティエ

ENSAM / Ecole Nationale Supérieure d'Arts et Metiers

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 9月～1月

Spring semester: 2月～6月

派遣要件有:英語・フランス語

Engineeringは学部4年以上が応募可

募集人数 3人

フランス / France

グルノーブル工科大学

Grenoble Institute of Engineering

アカデミックカレンダー

First Semester: 9月～1月

Second Semester: 1月～6月

学内要件 A / 派遣先要件有:フランス語

募集人数 2人

イタリア / Italy

ボローニヤ大学

University of Bologna

アカデミックカレンダー

Semester 1: 9月～1月

Semester 2: 2月～7月

学内要件 A

募集人数 2人

イタリア / Italy

ミラノ工科大学

Politecnico di Milano

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～2月

Second semester: 2月～7月

学内要件 A

募集人数 3人

※School of Architecture Urban Planning and Construction Engineering, School of Designに各1名ずつ

フランス / France

エコール・デ・ミヌ・ド・パリ

Ecole Nationale Supérieure des Mines de Paris

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～2月

Second semester: 2月～5月

※インターンシップによる延長も可

派遣先要件有:フランス語

※学士課程4年生以上出願可

※春学期留学希望者も秋出発の選考会で応募のこと

募集人数 3人

フランス / France

ストラスブール大学

Université de Strasbourg

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～1月

Second semester: 1月～6月

派遣先要件有:フランス語

(出願先の専攻によって異なる)

募集人数 3人

フランス / France

レンヌ第一大学

University of Rennes 1

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～12月

Second semester: 1月～5月

学内要件 A / 派遣先要件有:フランス語

募集人数 5人

スイス / Switzerland

スイス連邦工科大学
チューリッヒ校

ETH Zurich / Swiss Federal Institute of Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 9月～1月

Spring semester: 2月～8月

学内要件 S / 派遣先要件有:ドイツ語

専攻ごとにし出願の要件有

募集人数 7人 (2023年度実績)

※募集人数は毎年変動あり

スイス / Switzerland

スイス連邦工科大学
ローザンヌ校

Ecole Polytechnique Federale de Lausanne (EPFL)

アカデミックカレンダー

Fall semester: 9月～2月

Spring semester: 2月～7月

学内要件 S / 派遣先要件有:フランス語

専攻ごとにし履修制限有

募集人数 3人

スイス / Switzerland

チューリッヒ大学

University of Zurich

アカデミックカレンダー

Fall semester: 9月～1月

Spring semester: 2月～6月

派遣先要件有:英語・ドイツ語

募集人数 3人

フランス / France

パリ建築大学ヴィレット校

Ecole d'Architecture de Paris la Villette

アカデミックカレンダー

First semester: 10月～2月

Second semester: 2月～7月

派遣先要件有:フランス語

建築学系に所属の学生のみ応募可

募集人数 2人

フランス / France

ボン・ゼ・ショセ

École Nationale des Ponts et Chaussées

アカデミックカレンダー

Fall Semester: 9月～2月

Spring Semester: 2月～6月

派遣先要件有:フランス語・英語

募集人数 2人

フランス / France

エコール・ポリテクニック

École Polytechnique

アカデミックカレンダー

所属課程・所属年次によって異なる。

学内要件 S / 派遣先要件有:フランス語

GPA要件有

※春学期留学希望者も秋出発の選考会で応募のこと

募集人数 2人

スイス / Switzerland

ジュネーブ大学

University of Geneva

アカデミックカレンダー

Fall semester: 9月～2月

Spring semester: 2月～6月

学内要件 S / 派遣先要件有:フランス語

出願可能な学部に制限有

募集人数 3人

オーストリア / Austria

ウィーン工科大学

TU Wien

アカデミックカレンダー

Winter Semester: 10月～1月

Summer Semester: 3月～6月

派遣先要件有:英語・ドイツ語

留学時大学院生のみ応募可能

研究室への所属を推奨する

募集人数 2人

※上記は本てびき作成時の情報です。最新の情報についてはウェブサイトや「派遣交換留学対象校一覧」から確認願います。

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver>



留学奨学金情報

独立行政法人日本学生支援機構、各民間財団、日本の都道府県や市区町村、留学先の政府などが、海外留学する学生に奨学金を提供しています。留学費用が心配という方は経済的な理由で留学を諦める前に、奨学金で留学できる道がないか探してみることをお勧めします。



奨学金に関する詳細及び最新情報はこちら：<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships>

本学に在籍しながら留学する学生向けの奨学金

東工大に在籍しながら留学する学生が応募できる奨学金については、大学を通じて応募するものと個人応募のものに分類されます。また、本学の留学プログラムであれば、奨学金が付帯されているものも多数あります。詳しくは、留学情報館(p.15)までお問い合わせいただくほか、上記ウェブサイトをご覧ください。



学位留学する学生を支援する奨学金

東工大を卒業後、海外大学の修士課程 / 博士課程に学位取得を目的に長期留学する学生に対して、各民間財団が提供する奨学金です。ここでは本学を通して応募する奨学金を紹介します。

1 吉田育英会 日本人派遣留学プログラム

web <https://www.ysf.or.jp/scholarship/visitor/universal/overseas.php>

留学先	海外の大学院等	期間	2年間(博士課程への留学の場合 1年以内の延長を認める場合あり)
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生、本学教職員 ▶日本国籍を有する者 ▶留学先で支障なく勉学・調査・研究を行う語学力のある者 英語圏／専攻分野が理系の場合：iBT88点、IELTS6.5、専攻分野が文系の場合：iBT100点、IELTS7.0以上 英語圏以外／当該国の言語を主に研究に使用する場合はZD(ドイツ語)・DAPF(フランス語)等の試験を予め受験すること		
奨学金	2023年度派遣募集要項： ▶生活滞在費 月額2500米ドル ▶学校納付金 奨学期間内に合計250万円以内 ▶往復渡航費	募集締切	前年度8月頃
人数	5名[本学推薦枠：2名]	問い合わせ先	留学生交流課

2 竹中育英会 海外留学奨学生

web <https://www.takenaka-ikueikai.or.jp/recruitment.html>

留学先	海外の大学院等	期間	原則として修士2年、博士3年以内 (修士・博士号合わせて原則5年以内)
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生 ▶日本国籍を有する者 ▶大学における学業成績が本会の基準を満たし、更に学業の発展向上が期待できる者 ▶留学先での研究に十分な語学力を有していること[TOEFL iBT 88点(ITP 570点)以上、IELTS 6.5以上]の 英語コミュニケーション能力を有する者。または、留学先に受け入れ基準がある場合はそれを満たしていること ▶自然科学及びその応用分野を専攻する者		
奨学金	2023年度派遣募集要項： ▶授業料として250万円を上限とする実費 ▶滞在費・渡航費等に充当するものとして 年額200万円を上限とする費用	募集締切	前年度8月頃
人数	3～5名[本学推薦枠：2名]	問い合わせ先	留学生交流課

3 KDDI財団 日本人留学生助成

web <https://www.kddi-foundation.or.jp/support/japanese/>

留学先	海外の大学院等	期間	最長2年間
主な応募資格	▶大学院課程学生 ▶日本国籍を有する者(在日外国人、二重国籍、日本永住権を有する者は応募不可) ▶35歳以下 ▶法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究に取り組んでいる者 ※情報通信分野の進歩、発展に貢献するものを優先		
奨学金	2023年度派遣募集要項：月額20万円	募集締切	前年度8月頃
人数	2名程度[本学推薦枠：5名]	問い合わせ先	留学生交流課

4 経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生

web <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/#ishizaka>

留学先	海外の大学院等	期間	最長2年
主な応募資格	▶大学院課程学生(研究生は応募不可) ▶日本国民 ▶在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者 ▶広く社会に貢献し、将来アカデミアの世界で、研究者として活躍する意思を持つ者 ▶英語圏へ留学希望の場合、TOEFLの成績がiBT92点以上もしくはIELTSの成績が6.5以上であること ▶英語圏以外へ留学希望の場合、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD(ドイツ語)・DAPF(フランス語)等の 試験を予め受験していること		
奨学金	2023年度派遣募集要項： 年間350万円を一律支給(使途は留学先の学費、 生活費等、留学に関わる支出に限る)	募集締切	前年度8月頃
人数	2名[本学推薦枠：制限なし]	問い合わせ先	留学生交流課

5 日本学生支援機構海外留学支援制度(大学院学位取得型)

web <https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships#anchor01-05>

留学先	海外の大学院	期間	修士の学位取得を目的：2年以内 博士の学位取得を目的：原則3年以内 ※単年度毎に奨学金及び授業料支給。奨学金継続の可否は年度毎に行う。
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生、卒業生 ▶既に留学を開始している者も応募可 ※卒業生については個人でJASSOに直接応募 ▶日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者 ▶語学能力が次の水準以上である者①TOEFL iBT100点、IELTS7.0(Academic Module)以上 ②留学先大学が求める語学能力が上記①以上である場合は、留学先大学が求める語学能力以上 ※留学先大学での主たる使用言語が英語以外の者は別規定。 ▶大学学部以後の直近の学業成績：総在籍期間における累積GPAが3.00(最高値を4.00とした場合)以上		
奨学金	2022年度派遣募集要項： ▶月額89,000円～148,000円 ※留学先地域により支給金額は異なる。 ▶授業料(保険料等の各種経費は除く) 1万米ドル相当を上限とする授業料実費額。	募集締切	前年度10月頃
人数	未定	問い合わせ先	留学生交流課

